

第1章 児童・生徒の家庭・生活状況

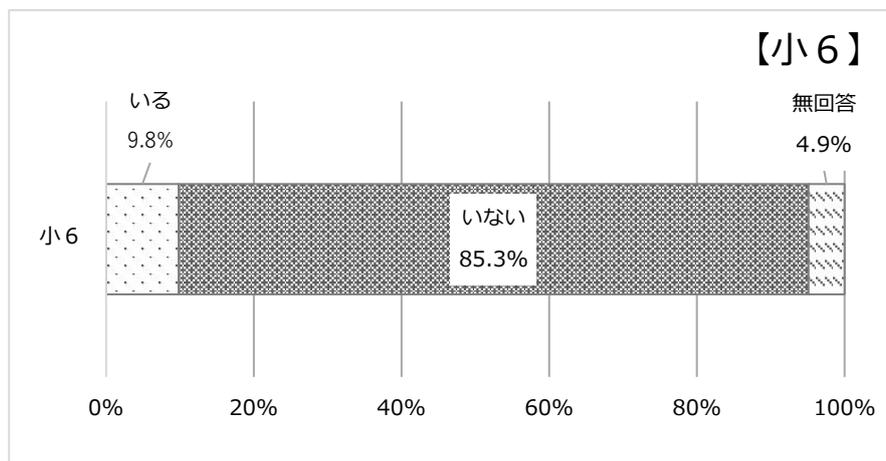
(世話の有無別集計)

1-1 回答者の属性

設問【問8】において、「家族の中に、ふだんの生活で手助けやお世話が必要な人がいる」と回答した小学生は531人、中学生は355人であった(図表1-1-1)。また、世話が必要な家族がいると回答した児童・生徒に【問11】において、児童・生徒が手助けや世話に関わっているかを尋ねたところ、小学生419名、中学生273名が「世話をしている」と回答(図表1-1-2)。家族の世話をしている児童・生徒が全体に占める割合は、小学生7.8%、中学生6.6%であった。

【問8】(単一回答) 家族の中に、ふだんの生活で手助けやお世話が必要な人はいますか。

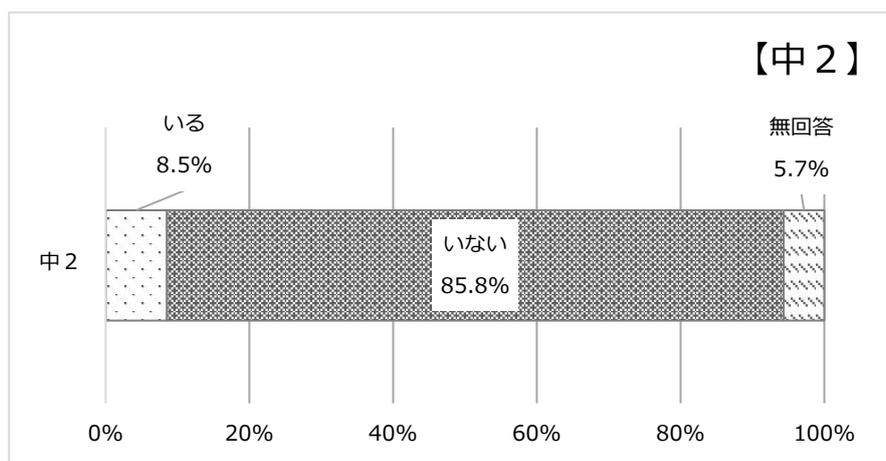
図表1-1-1 手助けや世話を必要とする家族の有無



(単位:人)

いる	531
いない	4,609
無回答	264

N = 5,404



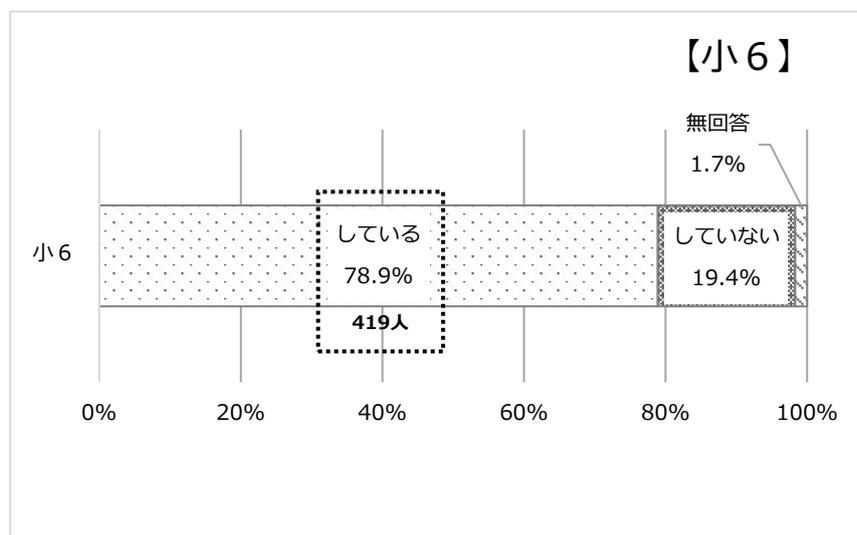
(単位:人)

いる	355
いない	3,571
無回答	236

N = 4,162

【問 11】（単一回答） あなたはお世話をしていますか。

図表 1-1-2 世話をしている子どもの割合

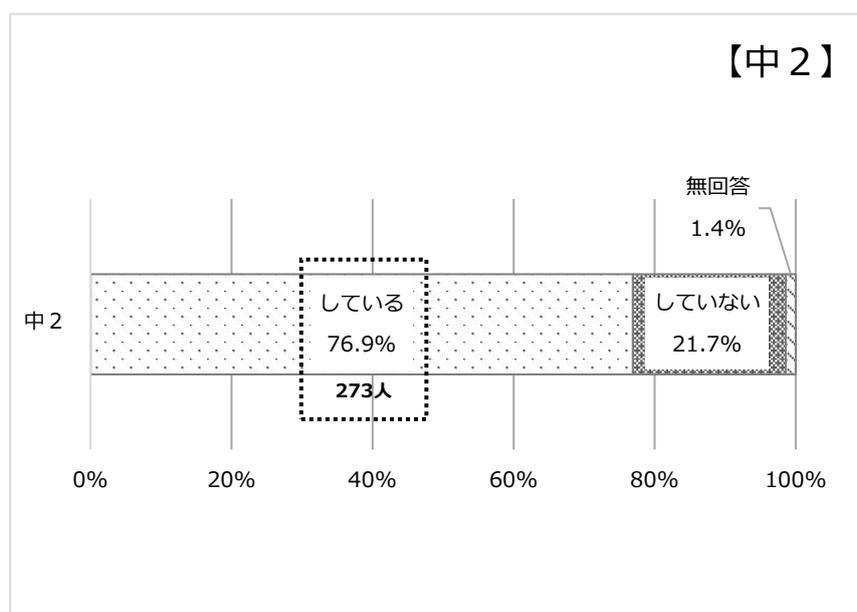


(単位：人)

している	419
していない	103
無回答	9

n = 531

419 人/5,404 人 (回答者全数)
=7.8%



(単位：人)

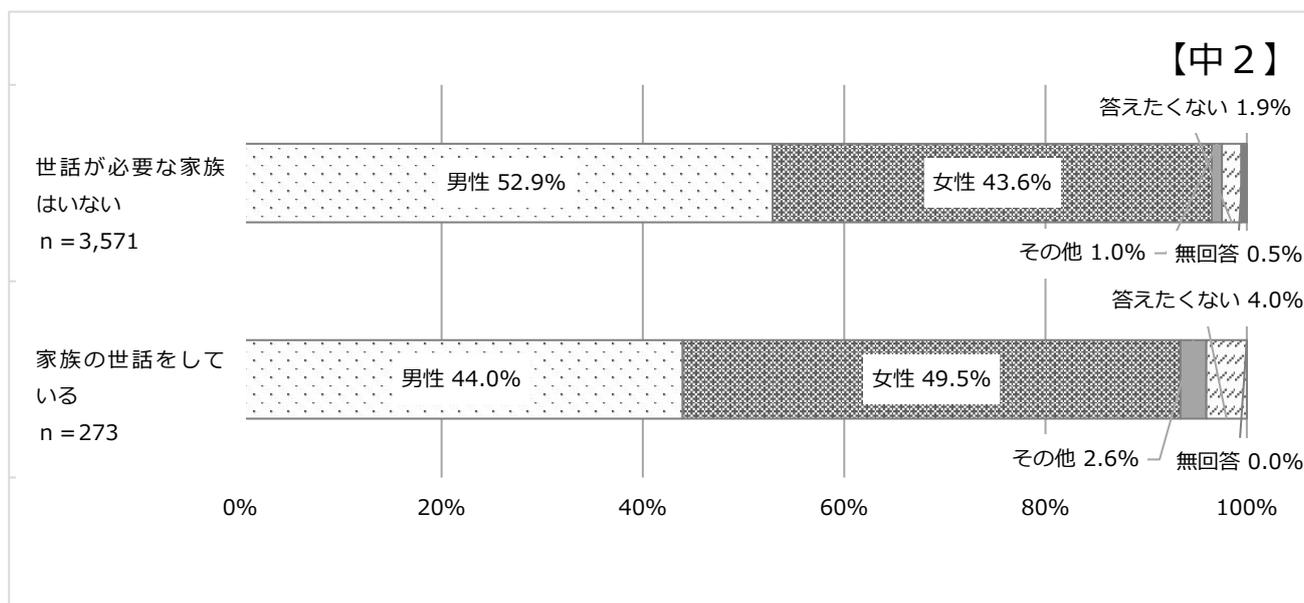
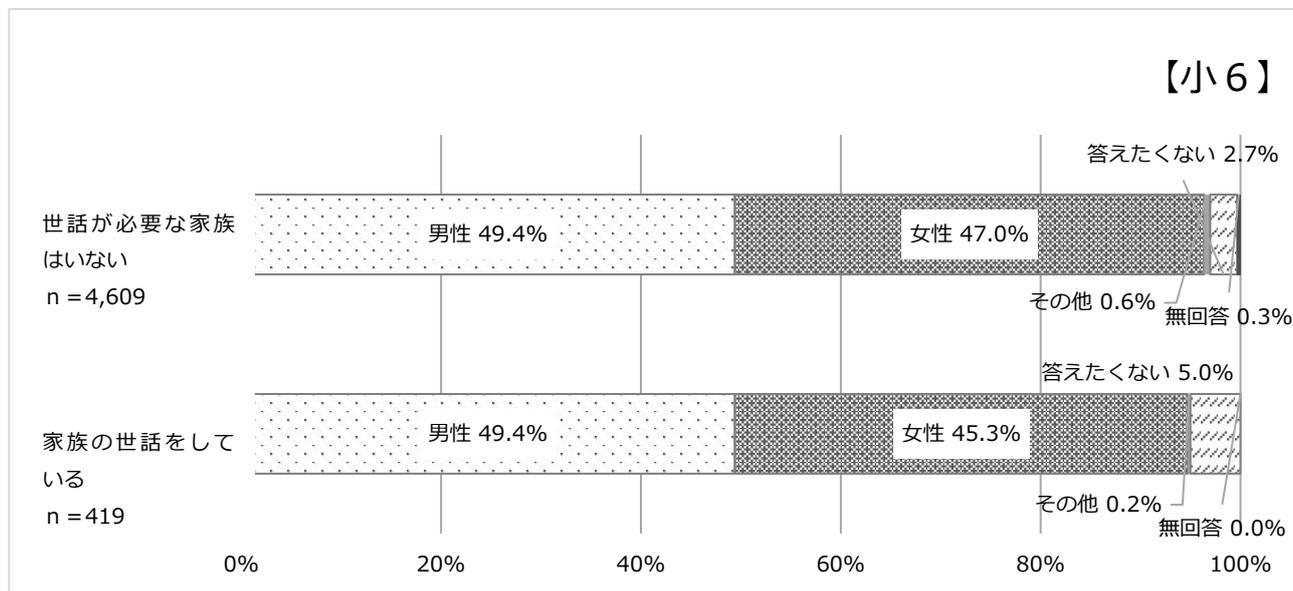
している	273
していない	77
無回答	5

n = 355

273 人/4,162 人 (回答者全数)
=6.6%

【問1】(単一回答) あなたのことについて教えてください(性別)。

図表 1-1-3 性別



1-2 児童・生徒の家庭・生活状況

【問 8】「家族の中に、ふだんの生活で手助けやお世話が必要な人はいますか」で「いない」を選択した「世話が必要な家族はいない」群と、【問 11】「あなたはお世話をしていますか」で「している」を選択した「家族の世話をしている」群（図表 1-1-1、図表 1-1-2）に区分し、クロス集計により、生活状況を比較した。

1-2-1 世帯構成

「世話が必要な家族はいない」群、「家族の世話をしている」群いずれの群においても「2 世代世帯」の割合が最も多いが、「家族の世話をしている」群は、「世話が必要な家族はいない」群に比し、小学生、中学生ともに「3 世代」の割合が高い。また、中学生では「ひとり親世帯」の割合もやや高い（図表 1-2-1-2）。

【問 7】（複数回答）いっしょに住んでいる人はだれですか。

図表 1-2-1-1 いっしょに住んでいる人

（単位：人）

	世話が必要な家族はいない 小 6 n = 4,609	家族の世話をしている 小 6 n=419	世話が必要な家族はいない 中 2 n=3,571	家族の世話をしている 中 2 n=273
お母さん	4,531	411	3,484	262
お父さん	4,121	372	3,120	223
おばあさん	390	64	302	60
おじいさん	228	44	173	27
兄・姉	2,143	148	1,770	113
弟・妹	2,030	287	1,595	175
その他	203	46	161	26
無回答	28	1	20	1

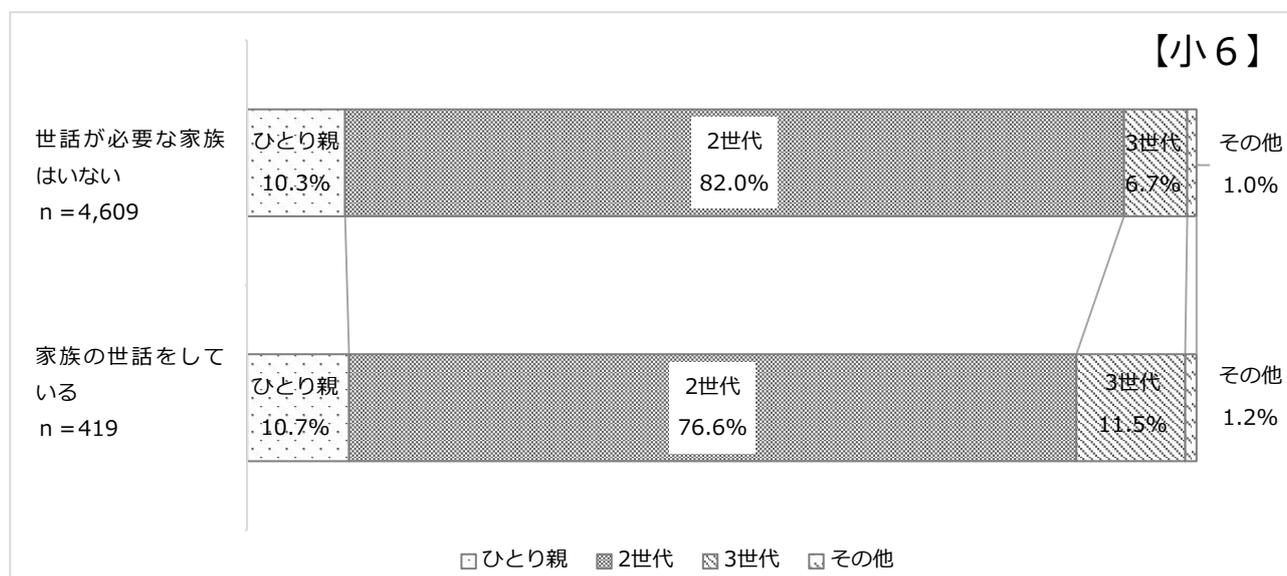
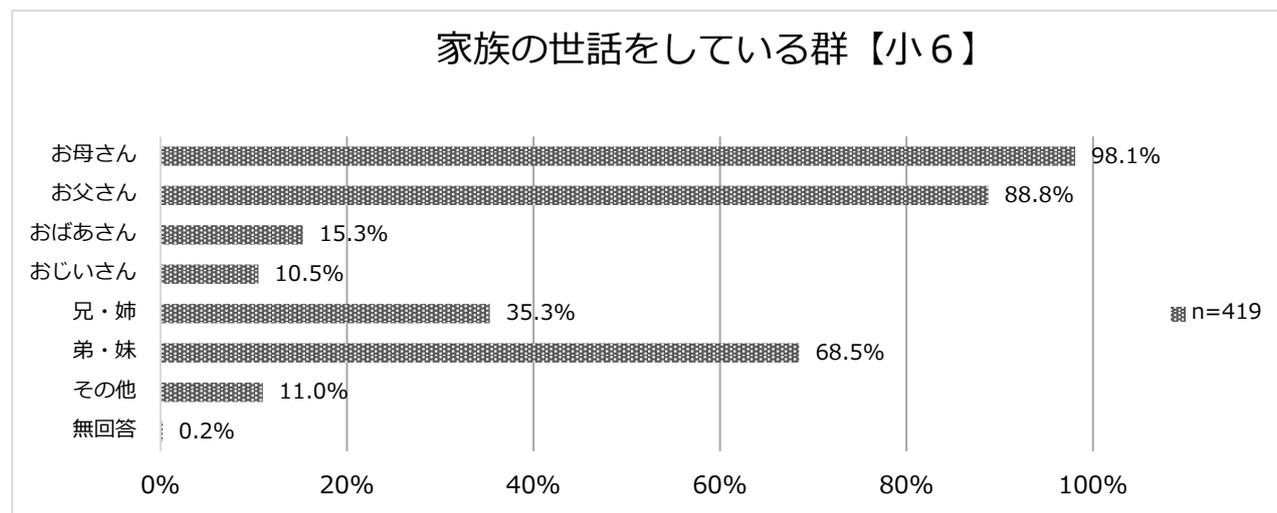
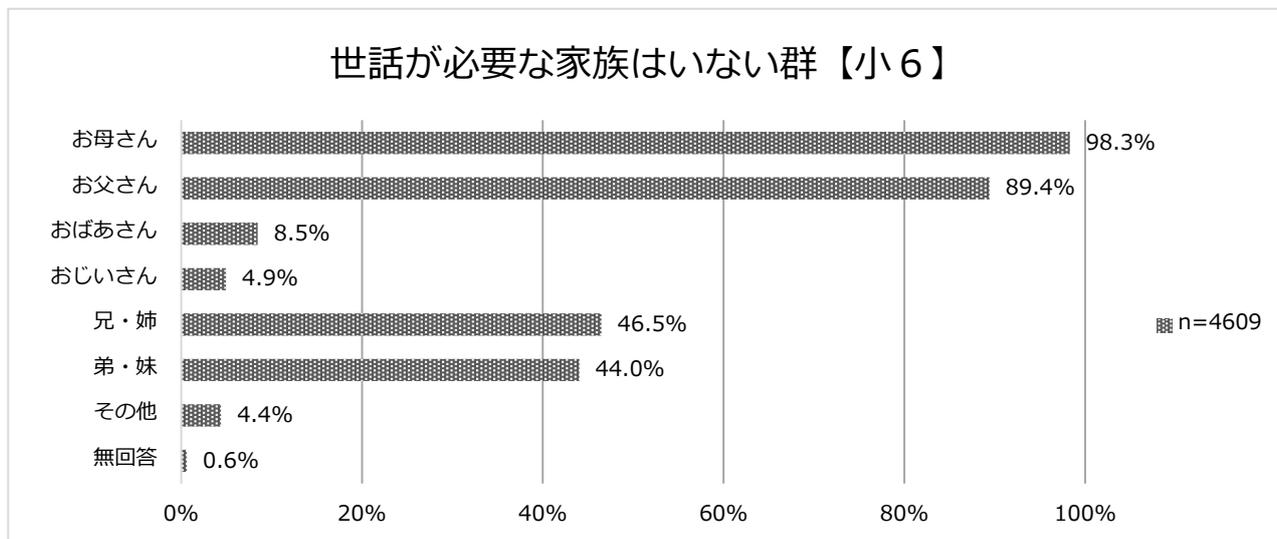
世帯構成の分類方法

【問7】 いっしょに住んでいる人はだれですか（複数回答）の回答をつぎの条件に基づき分類

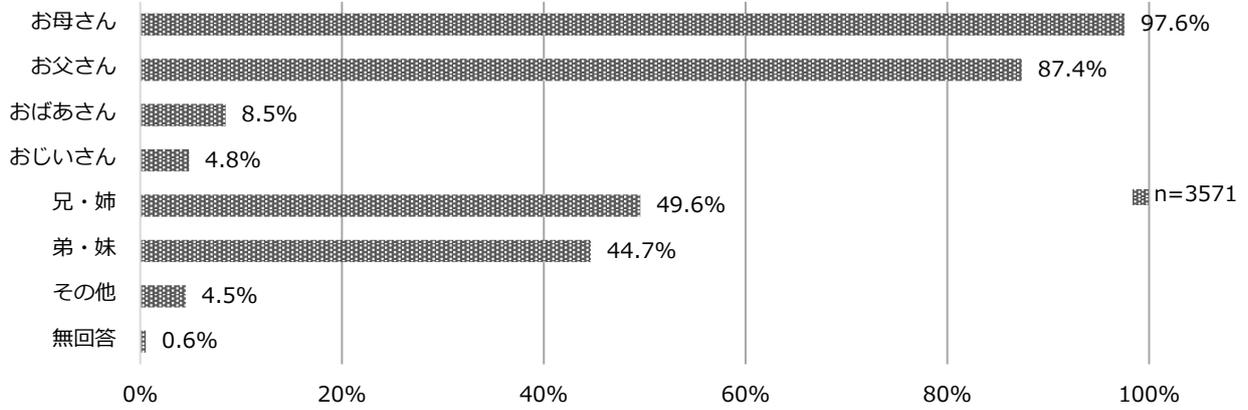
分類	条件
2世代	お母さん、お父さんのいずれにも○があり、おばあさん、おじいさんのいずれにも○がない
3世代	お母さん、お父さんのいずれにも○があり、おばあさん、おじいさんの両方またはいずれかに○がある
ひとり親	お母さん、お父さんのどちらか一方のみに○がある
その他	上記以外 （例）お母さん、お父さんのいずれにも○が無い、選択肢をいずれも選んでいない

【問7】（複数回答） いっしょに住んでいる人はだれですか。（回答から世帯状況を分類）

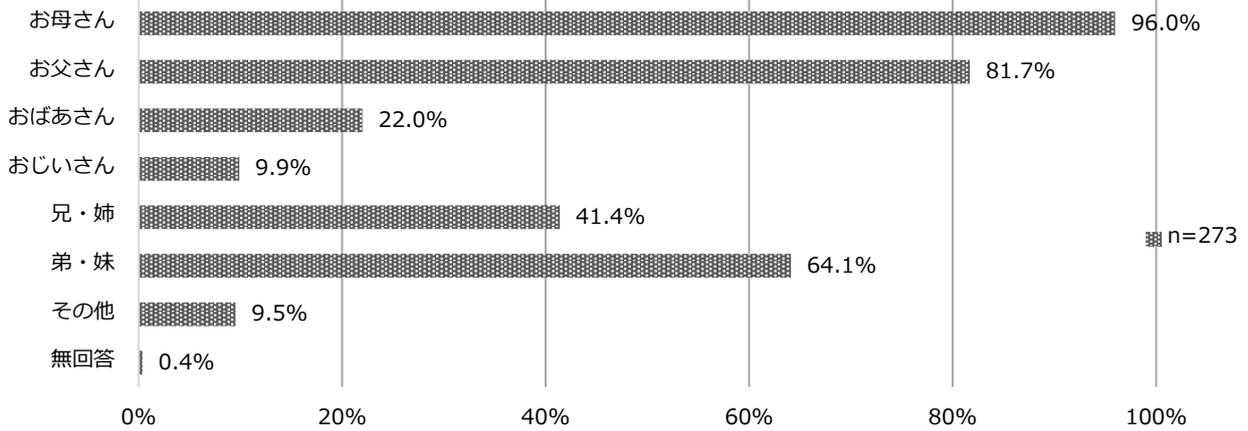
図表 1-2-1-2 同居家族と世帯状況



世話が必要な家族はいない群【中2】



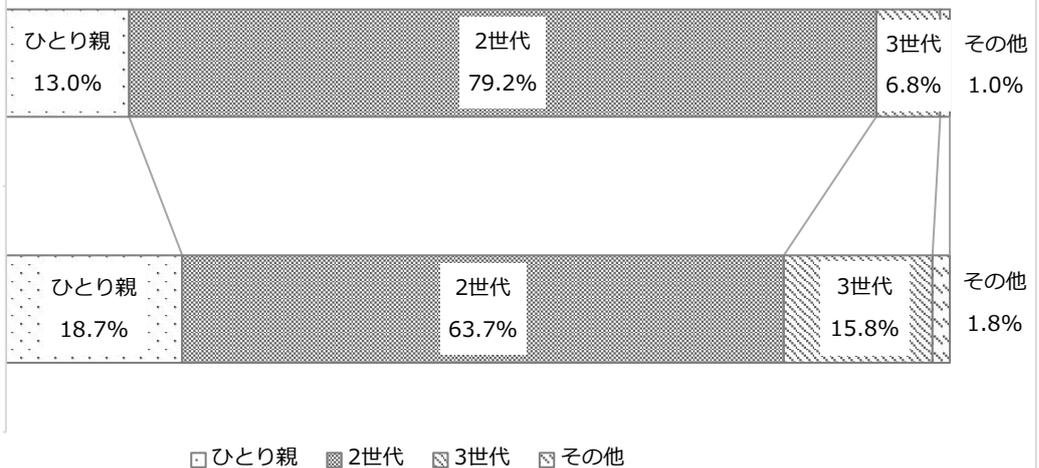
家族の世話をしている群【中2】



【中2】

世話が必要な家族
はいない
n = 3,571

家族の世話をして
いる
n = 273



1-2-2 睡眠と朝食

睡眠時間は、小学生の「家族の世話をしていない」群で「8時間」の項目の割合がやや高いものの、他には特徴的な差は見られない（図表 1-2-2-3）。朝食の喫食状況では、中学生の「家族の世話をしている」群で「世話が必要な家族はいない」群より「毎日食べている」の割合はやや低く、「どちらかといえば」の割合はやや高くなっているが、「毎日食べている」、「どちらかといえば食べている」の2項目を合計した場合で見ると、群間の差はほぼない（図表 1-2-2-4）。

【問 2】（単一回答）平日（学校がある日）朝は、何時ごろに起きていますか。

図表 1-2-2-1 起床時間

（単位：人）

	世話が必要な 家族はいない 小 6 n = 4,609	家族の世話を している 小 6 n = 419	世話が必要な 家族はいない 中 2 n = 3,571	家族の世話を している 中 2 n = 273
午前 6 時より前	451	43	295	29
午前 6 時台	1,956	181	1,375	113
午前 7 時台	2,109	183	1,836	127
午前 8 時過ぎ	25	5	32	3
その他	53	6	25	1
無回答	15	1	8	0

【問 6】（単一回答）平日（学校がある日）夜の寝る時間は何時ごろですか。

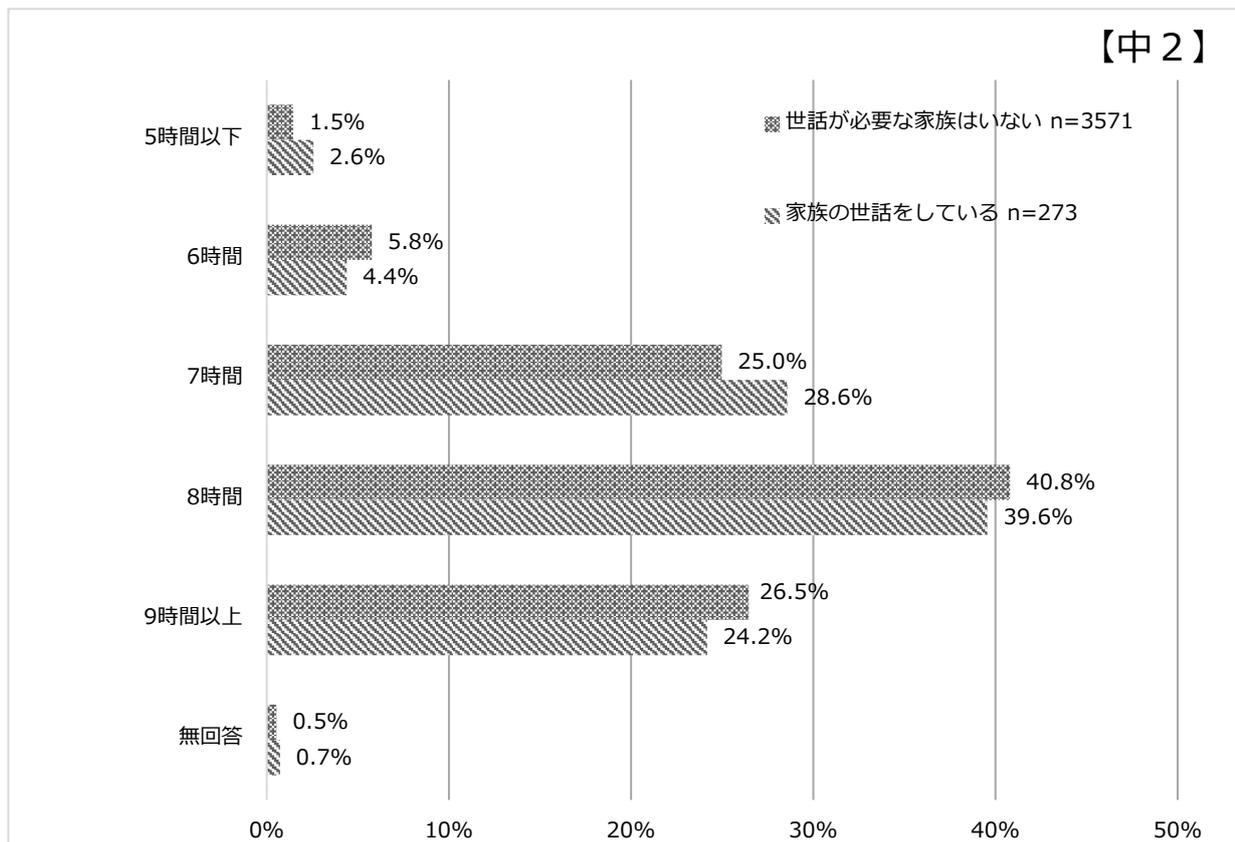
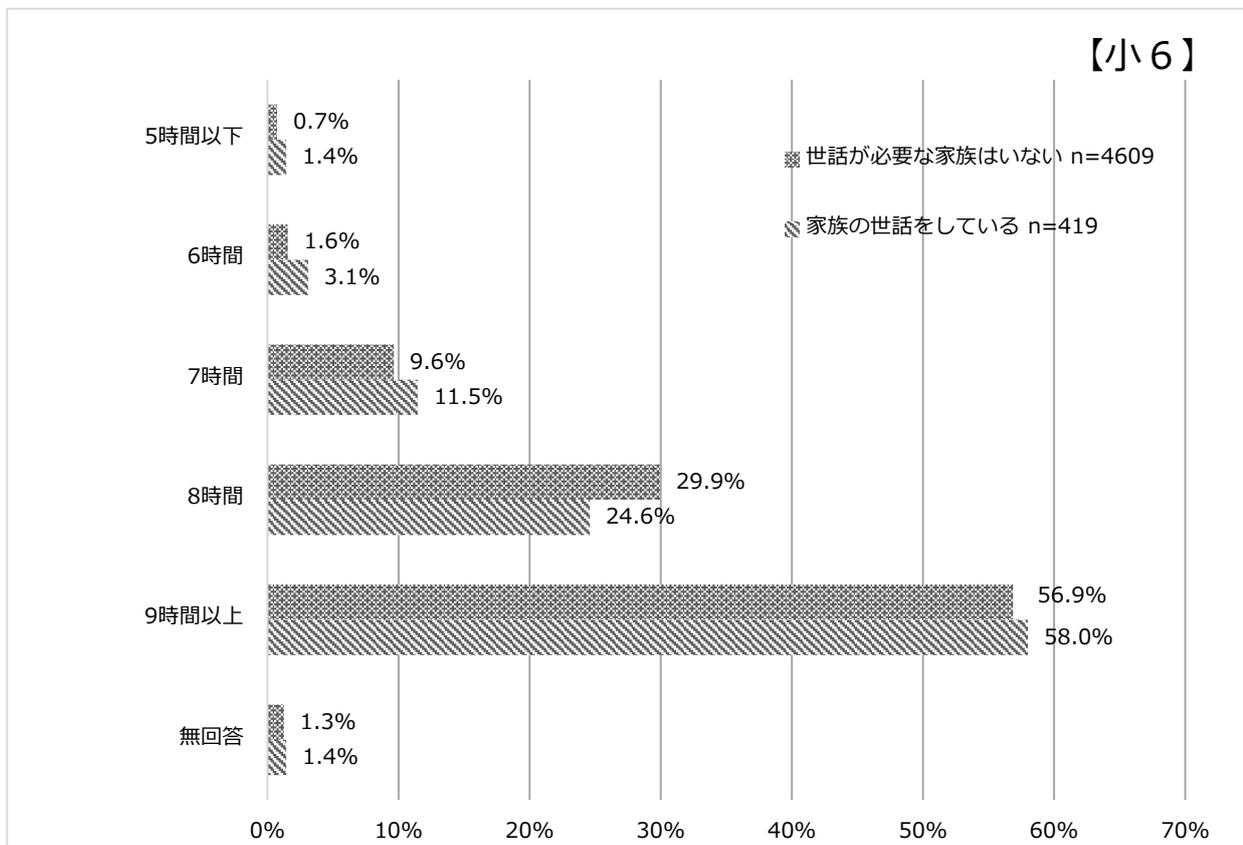
図表 1-2-2-2 就寝時間

（単位：人）

	世話が必要な 家族はいない 小 6 n = 4,609	家族の世話を している 小 6 n = 419	世話が必要な 家族はいない 中 2 n = 3,571	家族の世話を している 中 2 n = 273
午後 9 時過ぎから 10 時の間	1,678	165	380	28
午後 10 時過ぎから 11 時の間	1,932	151	1,344	103
午後 11 時過ぎから午前 0 時の間	635	51	1,261	92
午前 0 時より後	149	25	534	41
その他	172	22	40	8
無回答	43	5	12	1

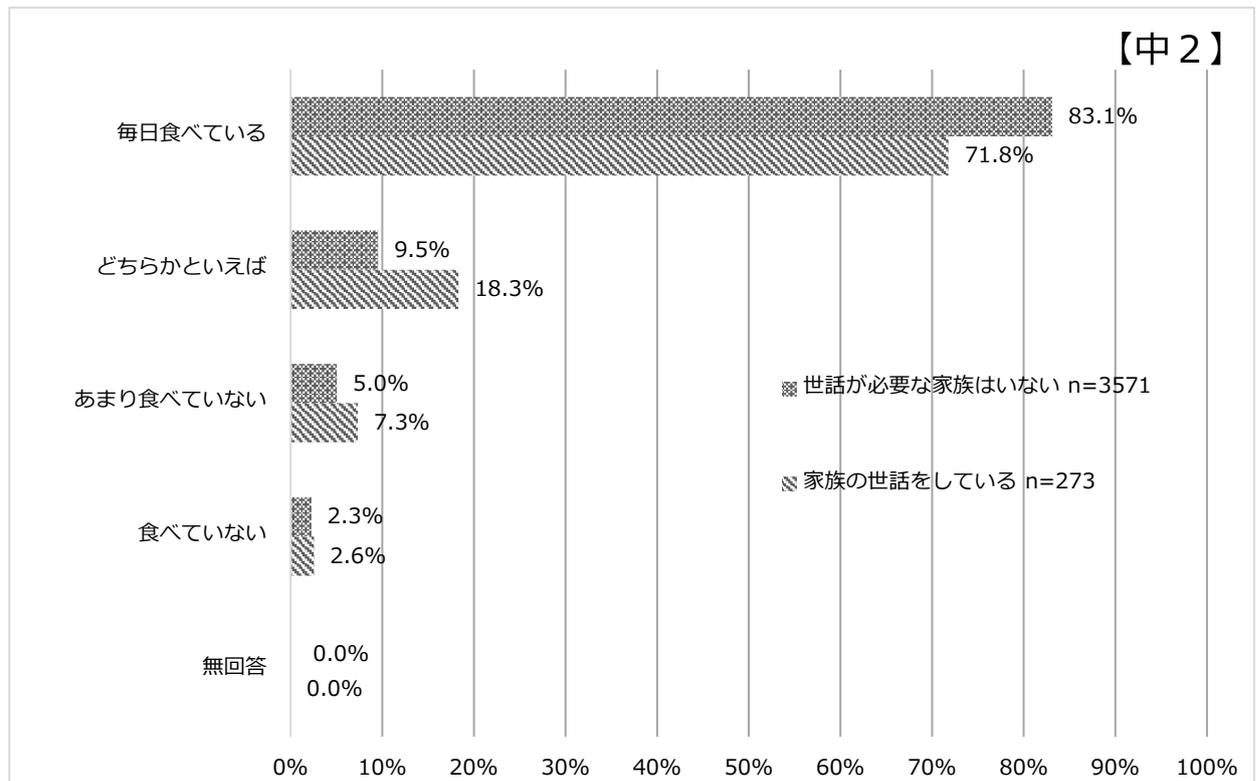
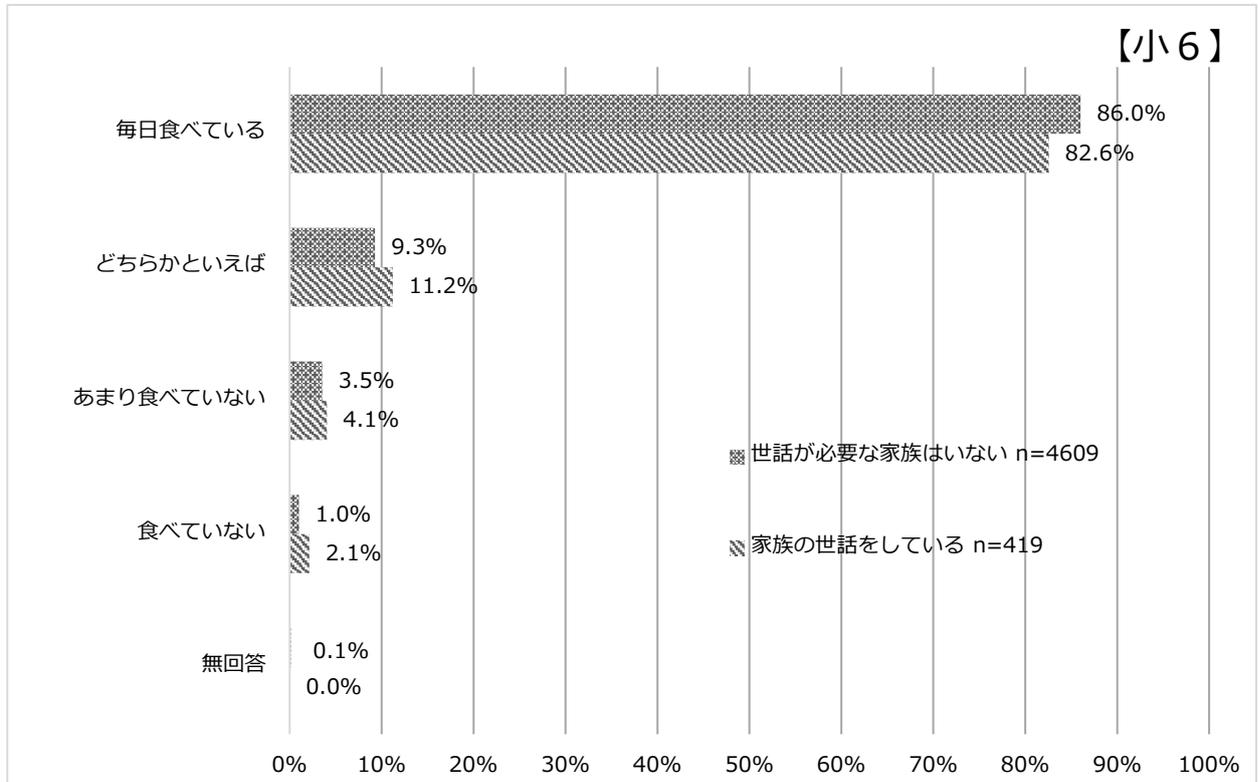
図表1-2-2-3 睡眠時間

※【問2】起床時間と【問6】就寝時間の回答から算出



【問3】（単一回答）平日（学校がある日）朝食を毎日食べていますか。

図表 1-2-2-4 朝食の喫食状況





©2011 練馬区ねり丸

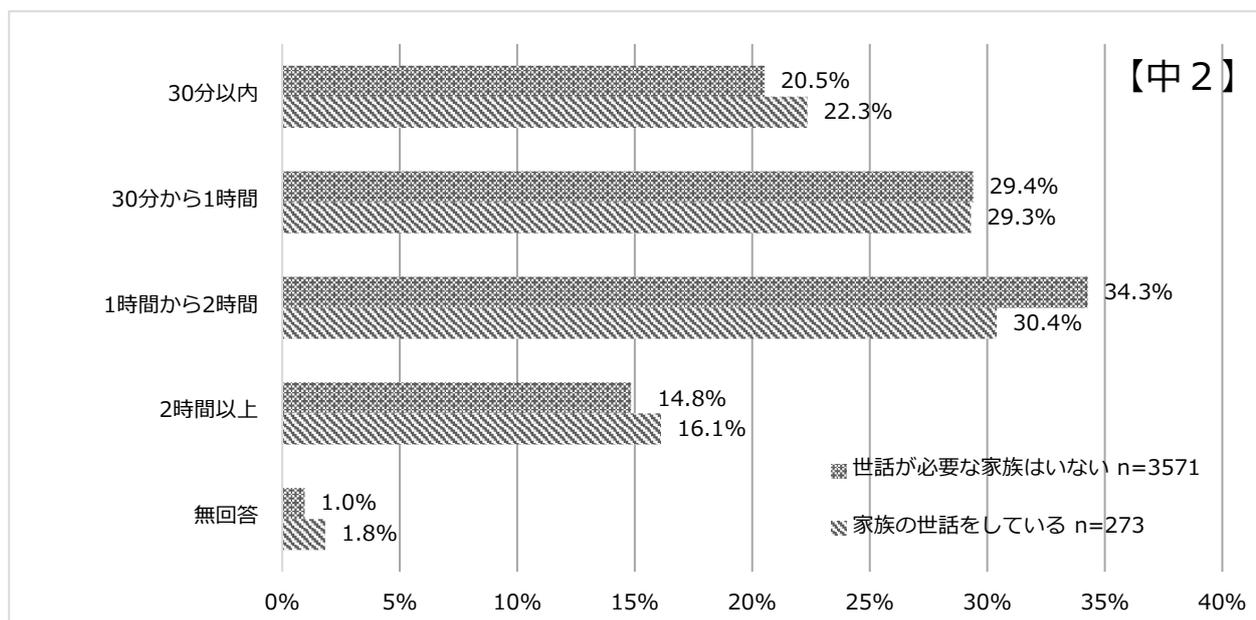
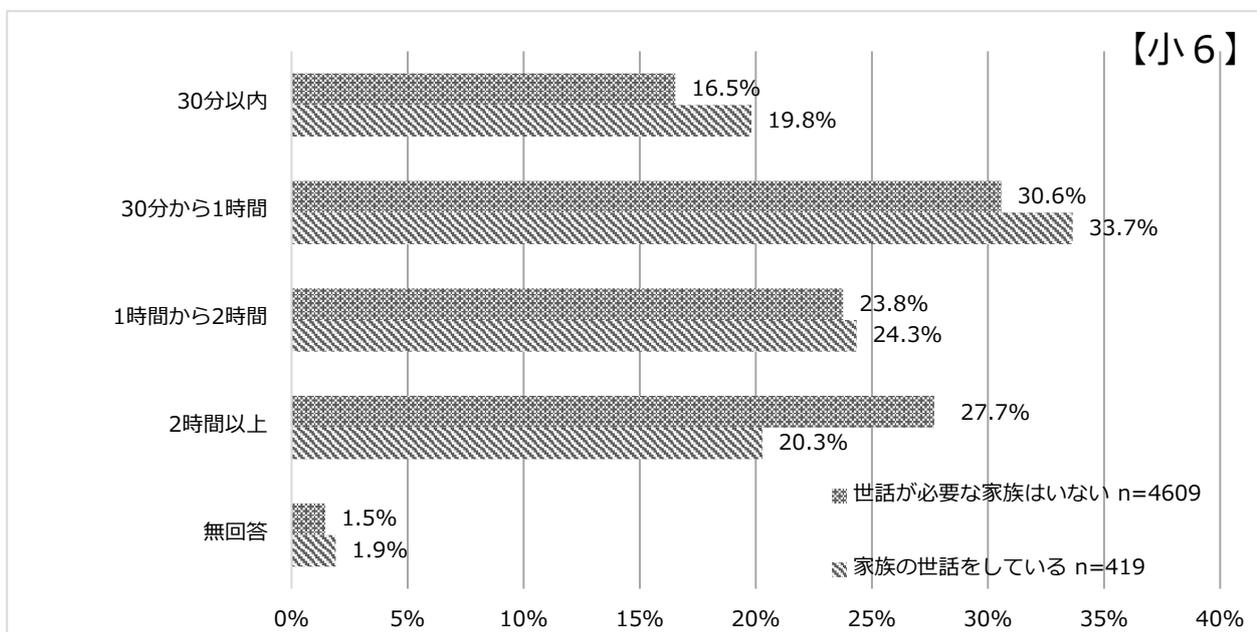
1-2-3 自分の時間

勉強時間について、「家族の世話をしている」群と「世話が必要な家族はいない」群の間で、小学生では「家族の世話をしている」群で「2時間以上」と回答した割合がやや低くなっているものの、特徴的な差はない（図表 1-2-3-1）。

自由時間について、「家族の世話をしている」群と「世話が必要な家族はいない」群の間で、「家族の世話をしている」群で「2時間以上」と回答した割合がやや低くなっているものの、特徴的な差はない（図表 1-2-3-2）。

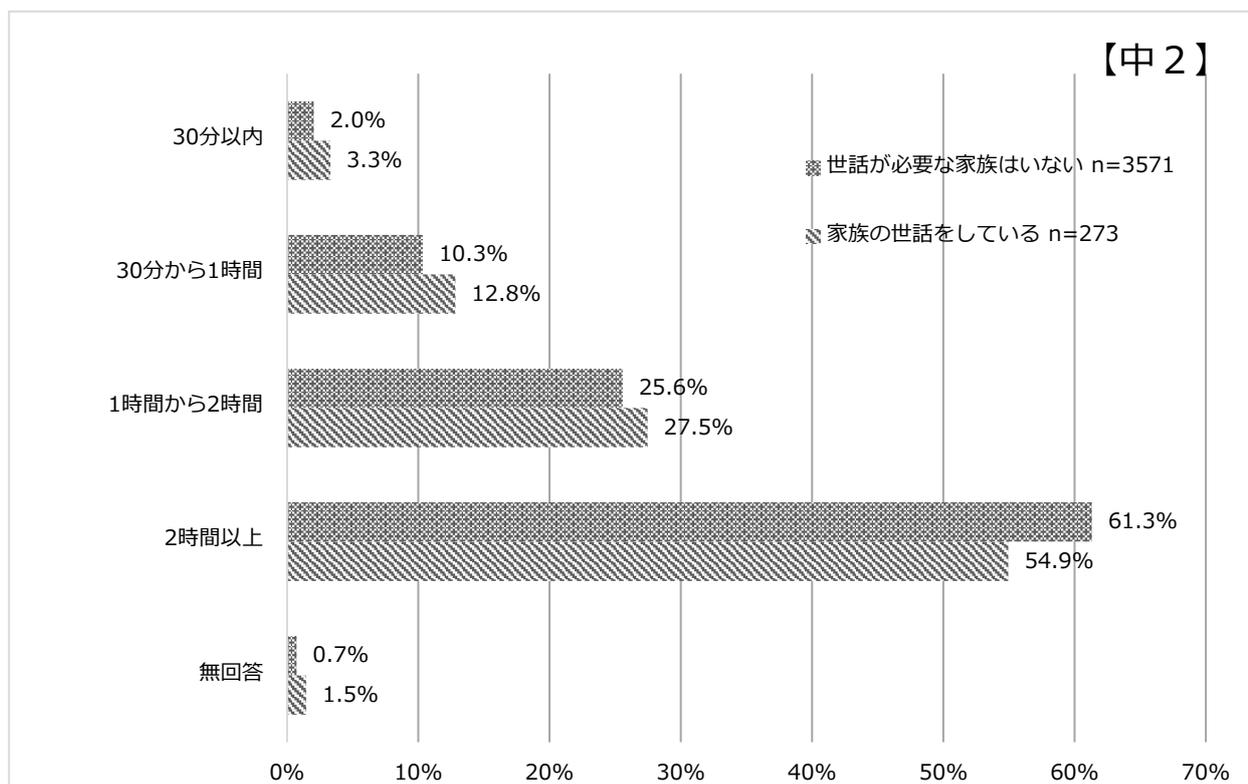
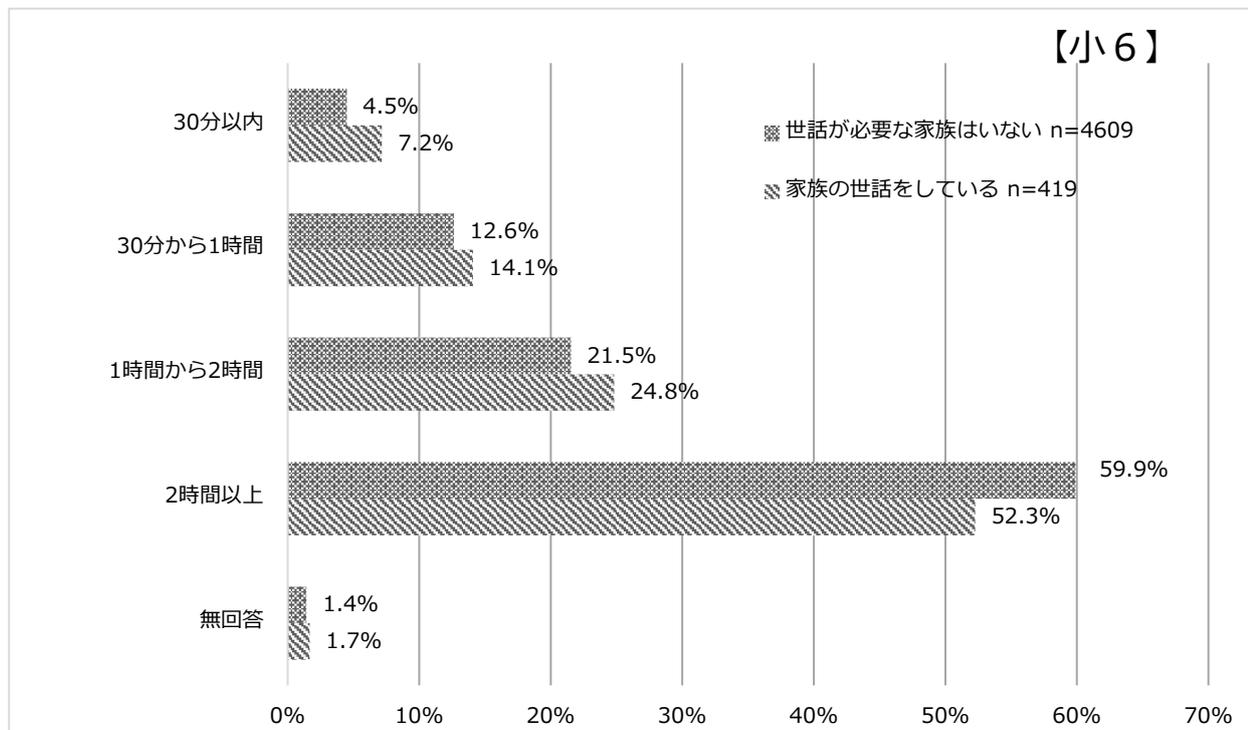
【問 4】（単一回答）平日（学校がある日）学校以外で勉強をする時間は1日どのくらいですか。

図表 1-2-3-1 勉強時間



【問 5】（単一回答）平日（学校がある日）学校以外で自分の自由に過ごせる時間は1日どのくらいありますか。

図表 1-2-3-2 自由時間



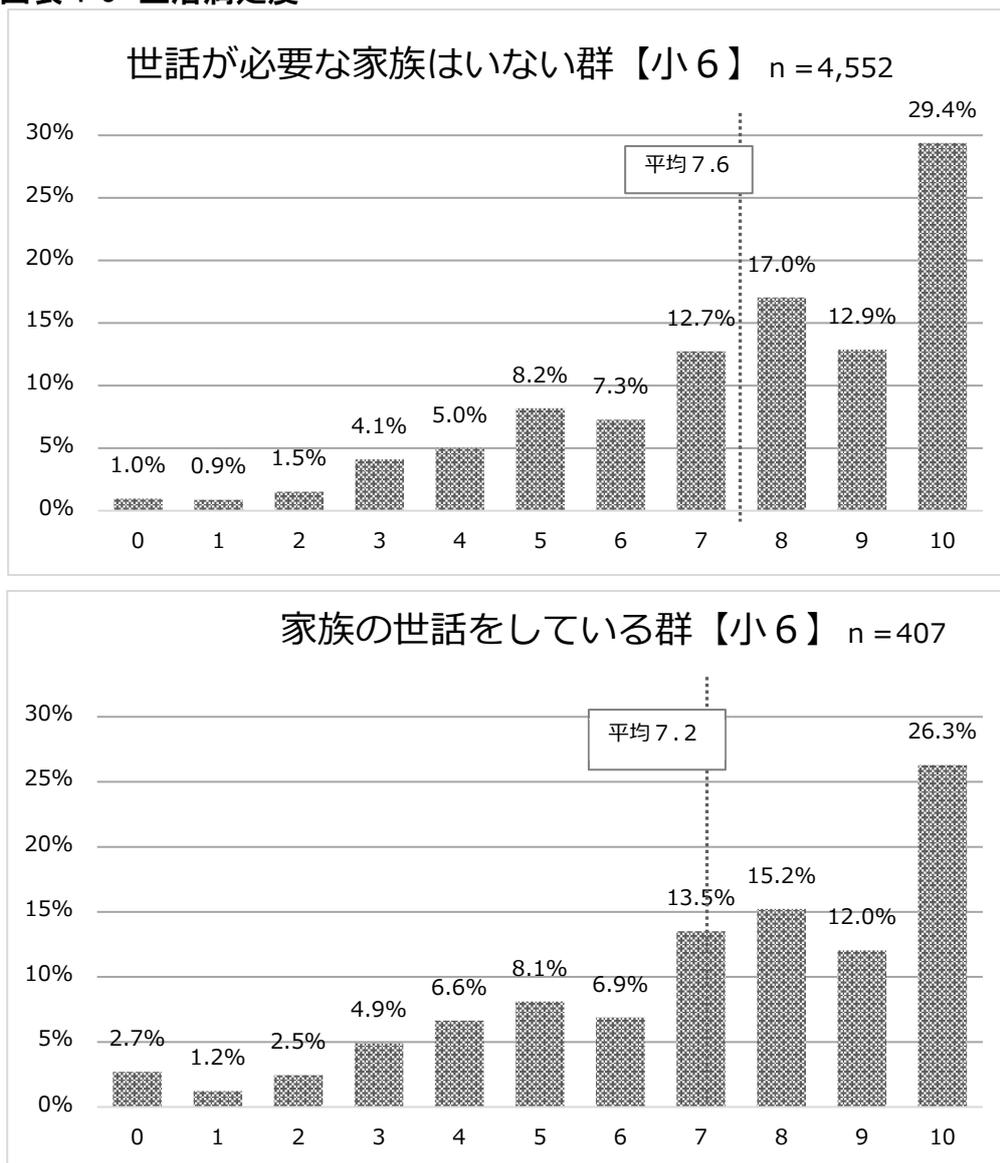
1-3 生活満足度

生活満足度は、現在の生活にどの程度満足しているかを「全く満足していない」の0点から「十分に満足している」の10点までの11段階で調査した。回答が多い順に項目を並べ替えたときの中央の値は、中学生の「世話をしている」群が「9」、他の群が「6」であった。最頻値は小学生が「10」、中学生が「8」となっており、群間の差はなかった。平均は「世話が必要な家族はいない」群で小学生は7.6、中学生は6.9、「世話をしている」群で小学生は7.2、中学生は6.5であった。群間では、0.4ポイントの差がある(図表 1-3)。(生活満足度の集計には無回答を母数から除く。)

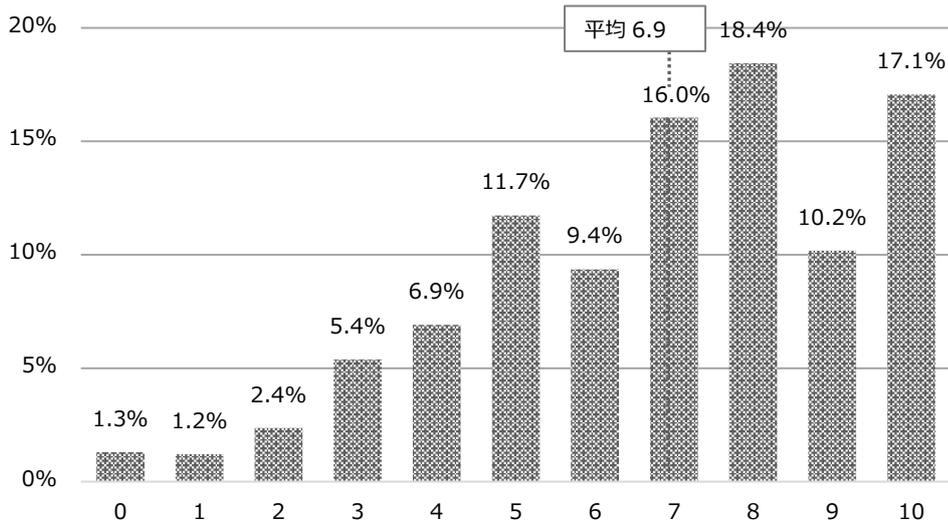
参考として「OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA) 2018 年度調査」によると、日本の生徒 (15 歳) で生活満足度の平均は 6.2 であり、各群ともに全国平均以上である。

【問 23】(単一回答) 最近の生活にどのくらい満足していますか。

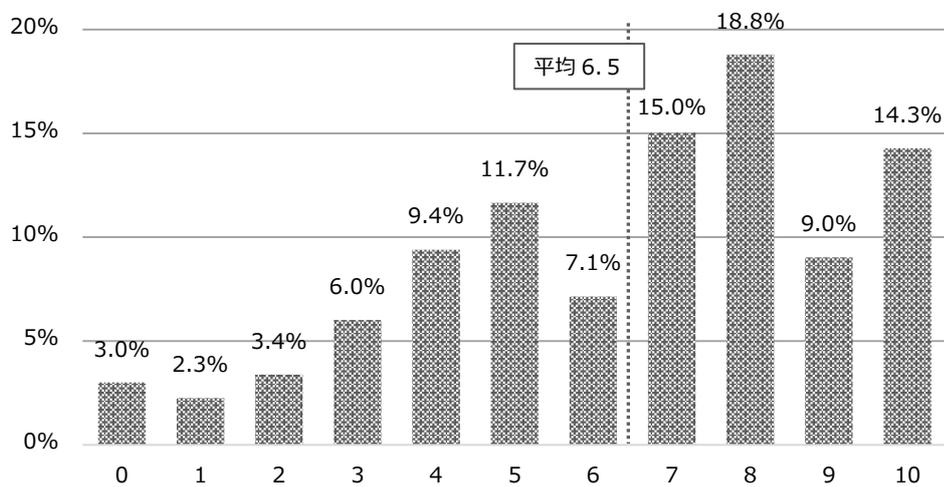
図表 1-3 生活満足度



世話が必要な家族はいない群【中2】 n=3,546



家族の世話をしている群【中2】 n=266



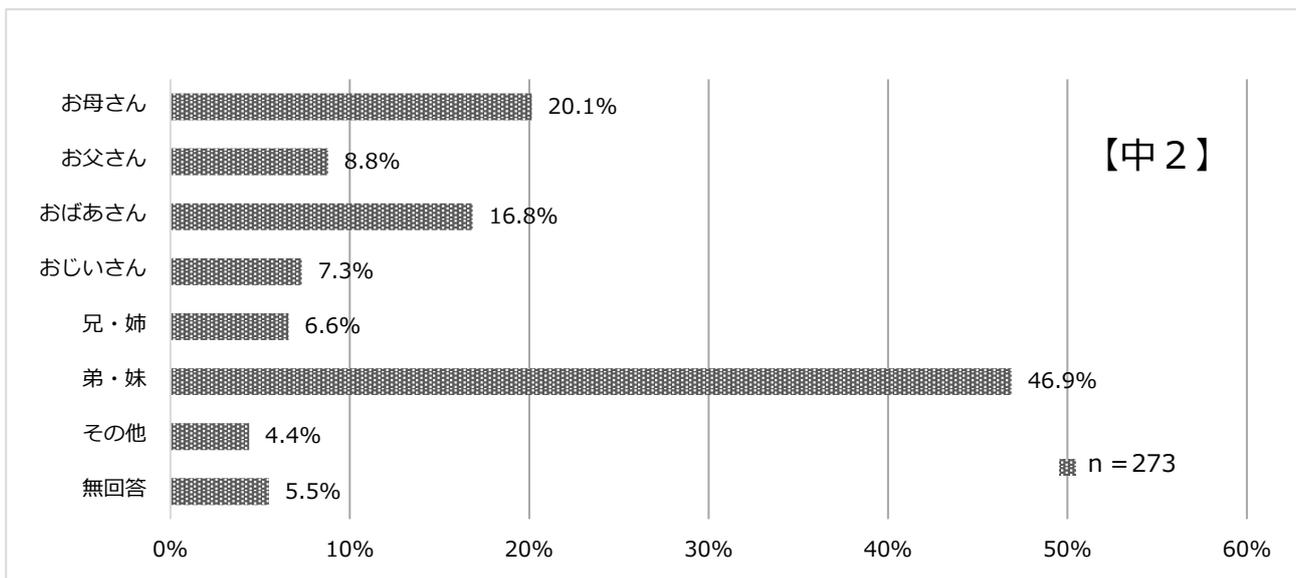
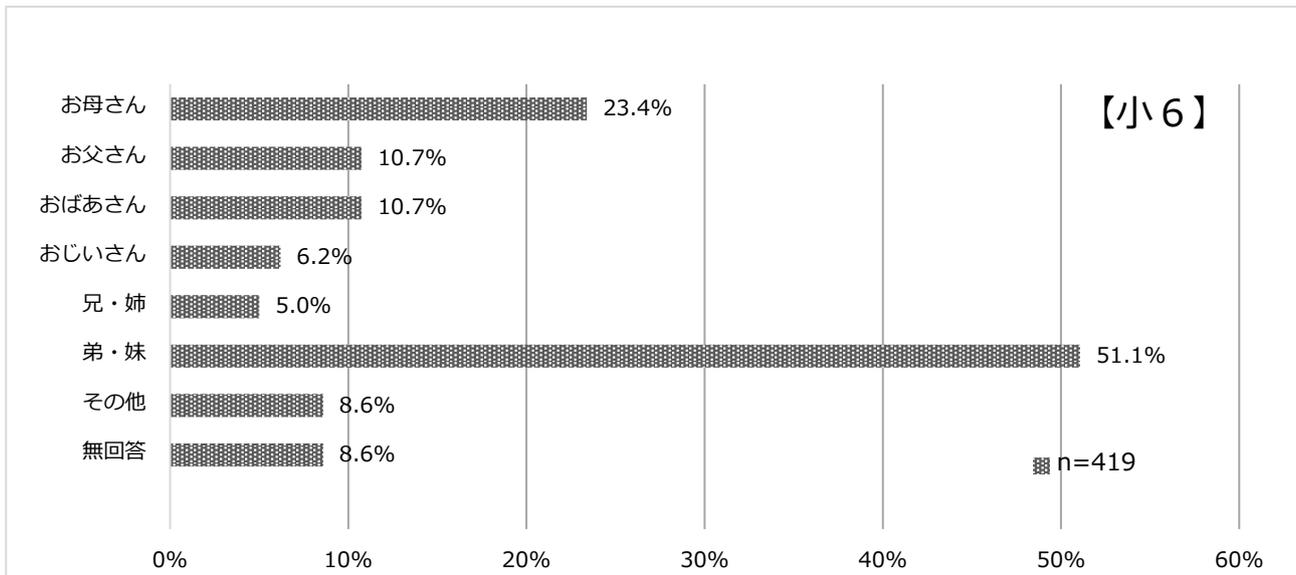
1-4 家族の世話をする児童・生徒の状況

1-4-1 世話をする対象者

世話が必要な家族は、小学生、中学生ともに「弟・妹」が最も多く、約5割の児童・生徒が選択している。次いで「母」を選択した児童・生徒が約2割であった。また、「祖母」は中学生で16%、小学生で10%が選択している（図表1-4-1）。その他では、同居の親族や知人のほか、ペットと回答したものが一定数あった。

【問9】（複数回答）お世話を必要とする人はだれですか。

図表 1-4-1 世話を必要とする家族

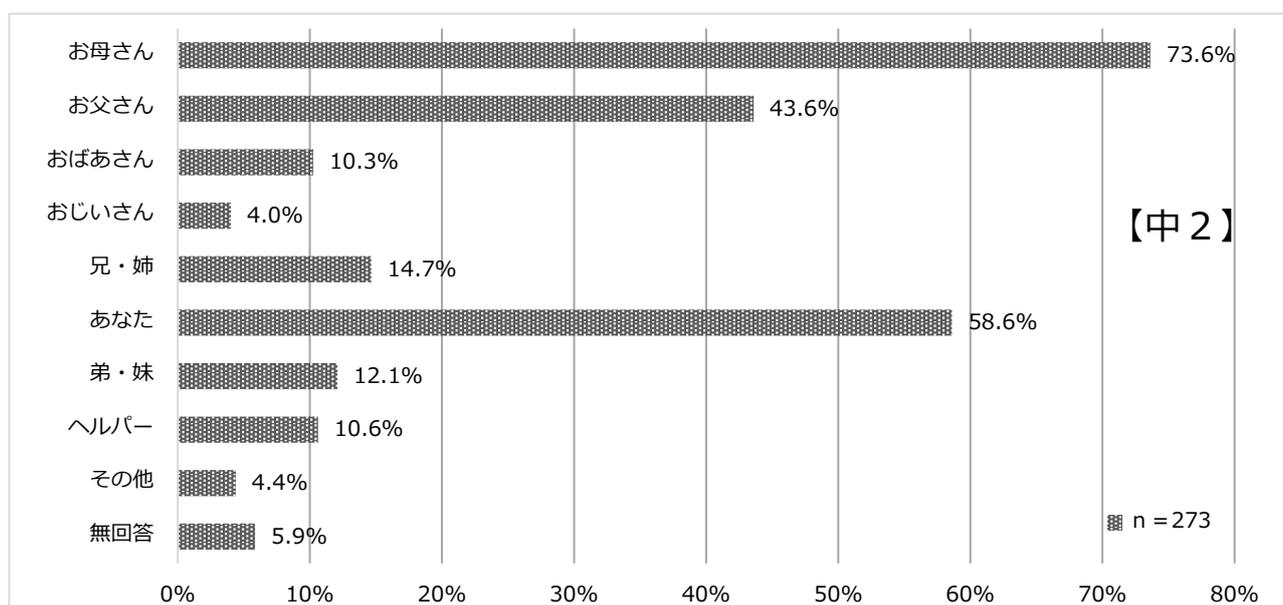
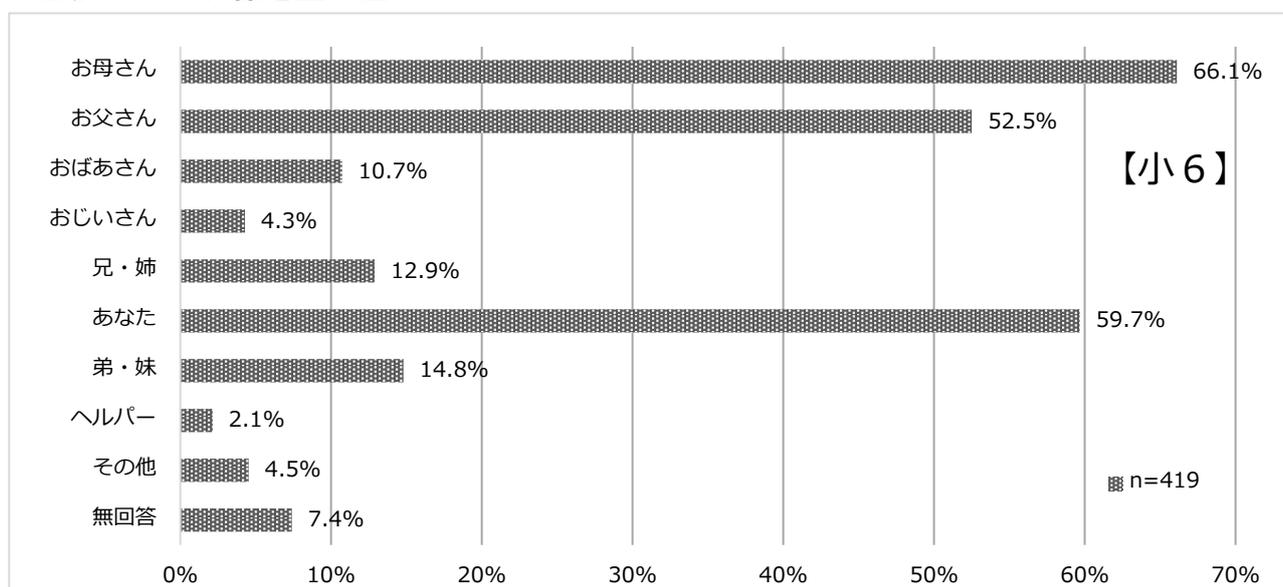


1-4-2 家庭内で世話を担う人

小学生、中学生ともに「世話が必要な家族」の世話を主に担う人として、「母」を選択した児童・生徒は約7割で最も多く、2番目に「あなた（自分）」の選択が約6割となっている（図表 1-4-2）。【問 11】「あなたは世話をしているか」の設問では、児童・生徒の8割弱が「世話をしている」と回答し（図表 1-1-2）、主に世話を担っている子ども（約6割）と、主にではないが世話を担っている子ども（約2割）の存在がわかる。世話の関わり方の違いにより、生活状況等への影響に差が出る可能性があり、さらに詳細な分析が必要である。

【問 10】（複数回答）その人（お世話を必要とする家族）のお世話を主にしている人はだれですか。

図表 1-4-2 世話を主に担う人

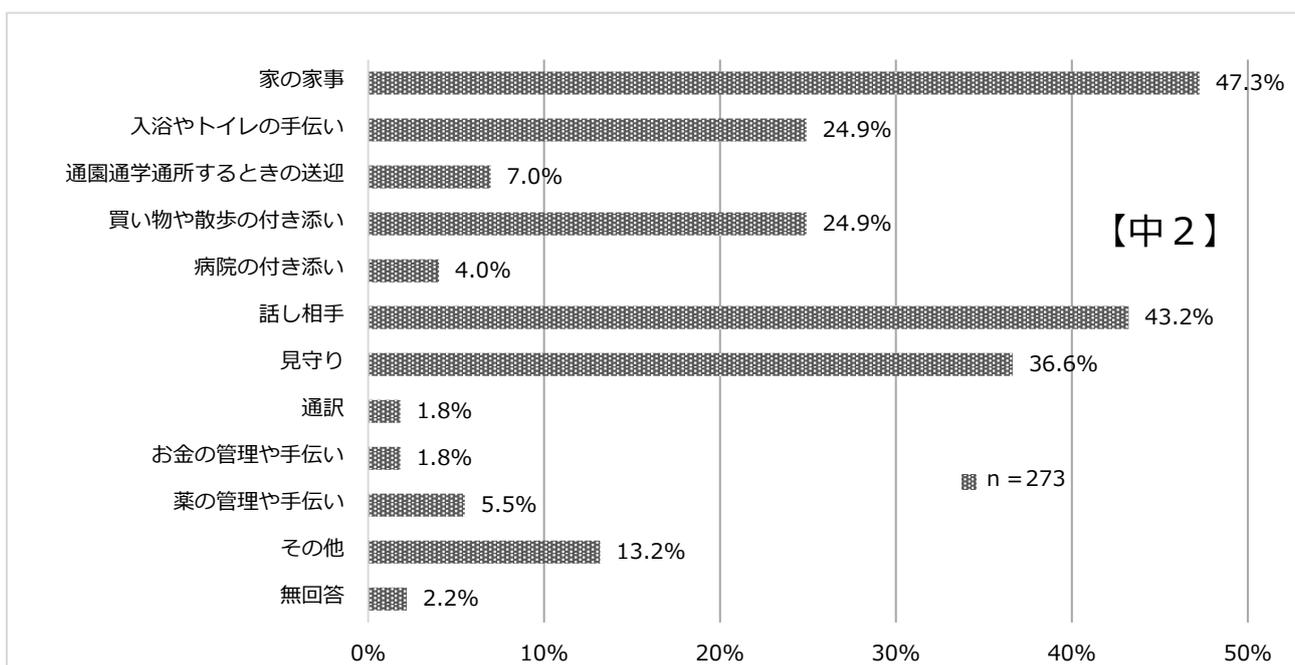
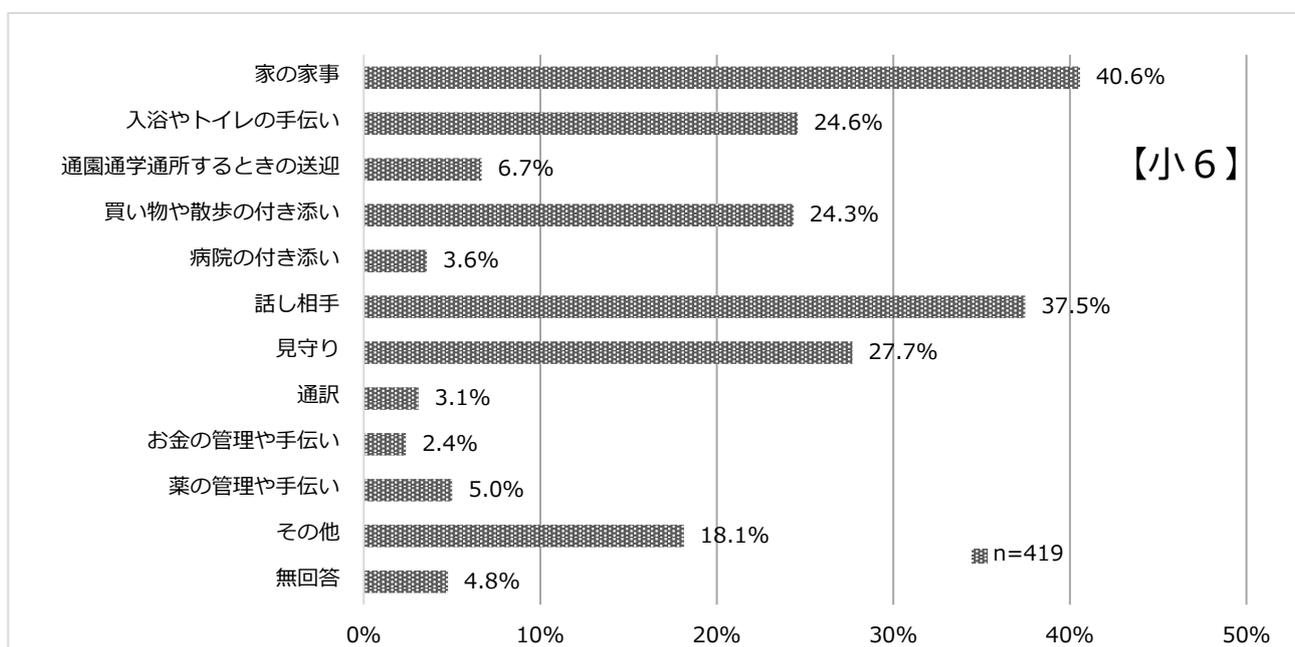


1-4-3 世話の内容

世話の内容については、小学生、中学生ともに「家事」、「話し相手」、「見守り」の順で割合が高くなっている。「家事」は中学生の約5割、小学生の約4割が選択しており、「話し相手」は、中学生・小学生の約4割、「見守り」は、中学生の約4割、小学生の約3割が選択している。割合は極めて低いものの、金銭管理や服薬管理など、より責任が重いとされる役割を選択した児童・生徒がいた（図表 1-4-3）。

【問 12】（複数回答）あなたがしているお世話の内容を教えてください。

図表 1-4-3 世話の内容

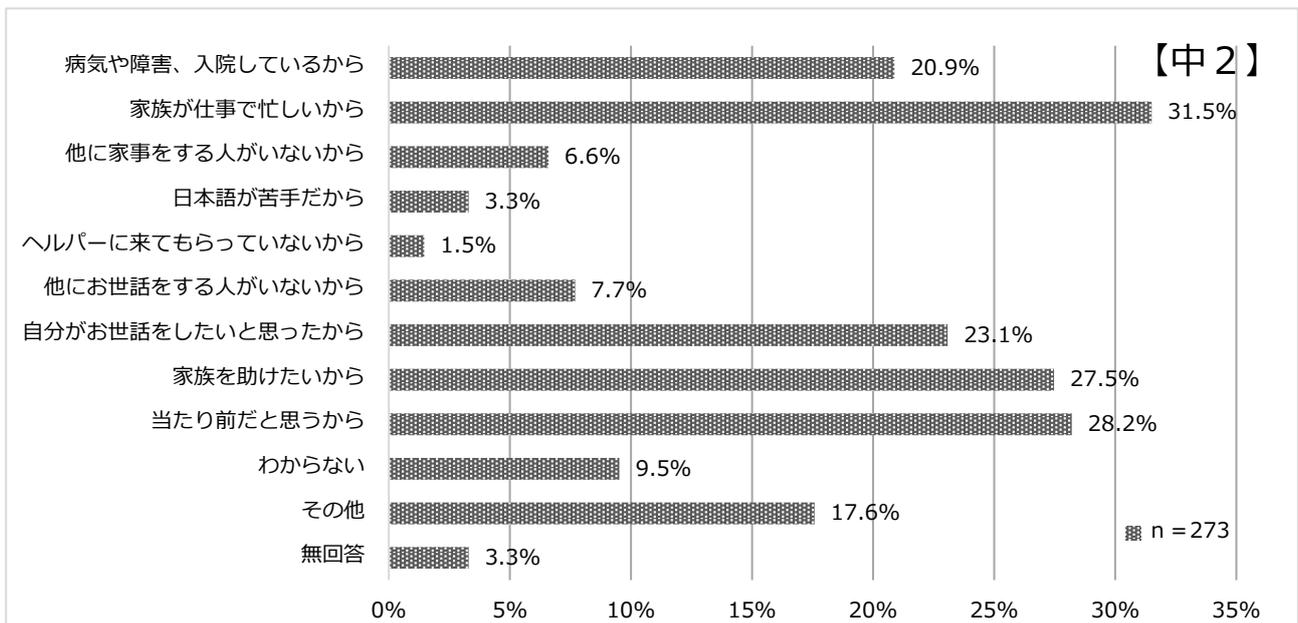
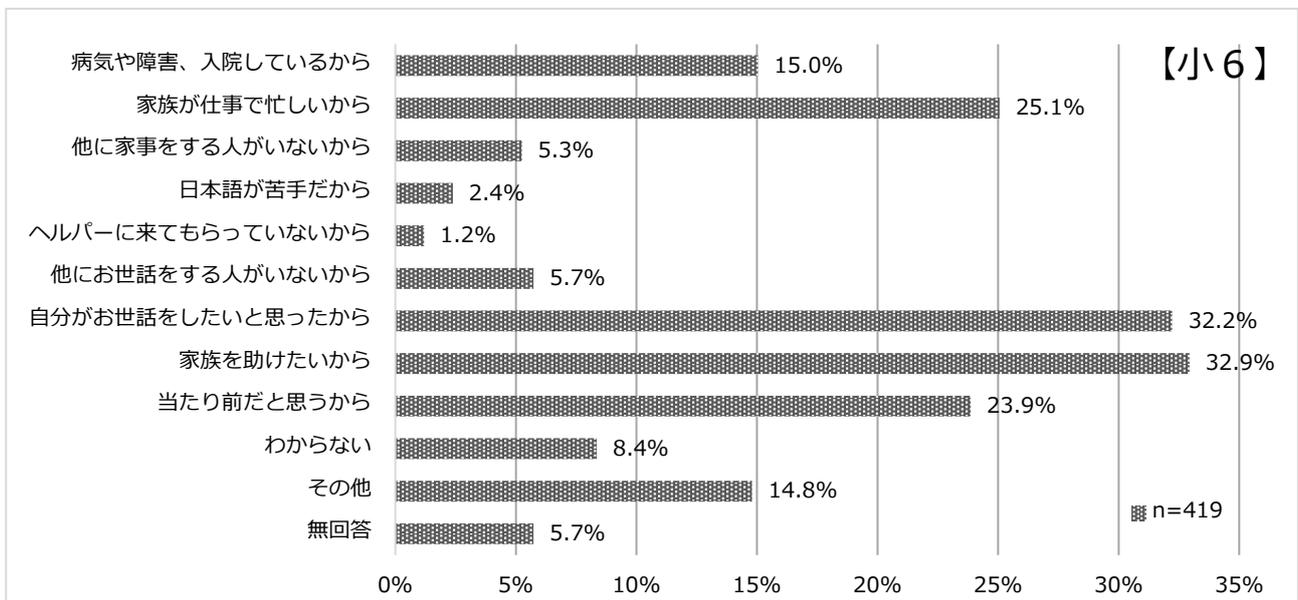


1-4-4 世話をする理由

世話をする理由については、小学生では「自分が世話をしたいと思った」、「家族を助けたい」を選択した割合が3割以上で最も高く、「家族が仕事で忙しい」、「当たり前だと思う」がそれぞれ2割台半ばとなっている。中学生では「家族が仕事で忙しい」が3割以上で最も高く、次いで「当たり前だと思う」、「家族を助けたい」が3割弱となっている。また、家族の「病気や障害、入院」の選択が小学生で1割台半ば、中学生で約2割あった（図表1-4-4）。

【問13】（複数回答）あなたがお世話をしている理由を教えてください。

図表 1-4-4 世話をする理由



1-4-5 世話をする日数・時間

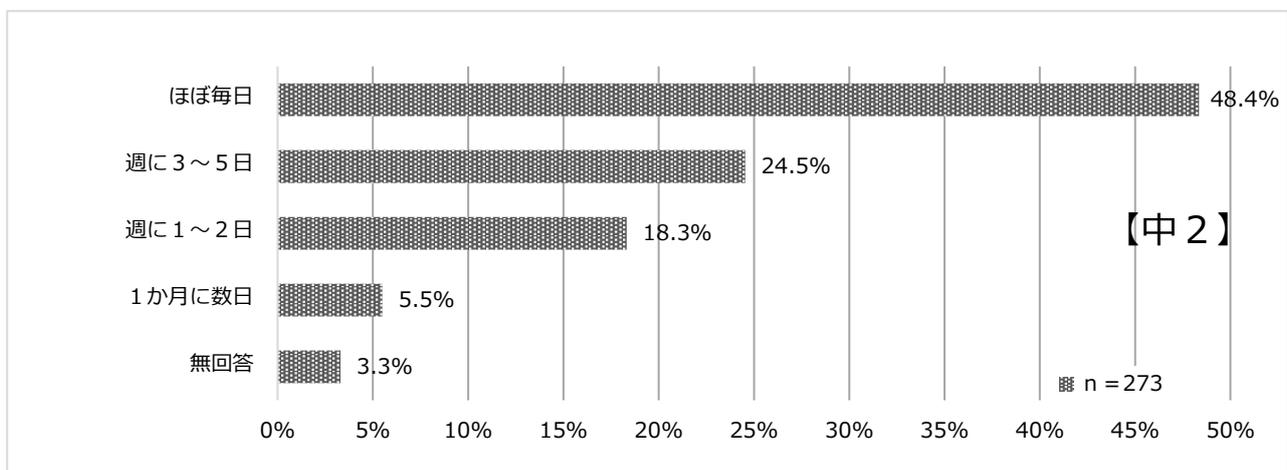
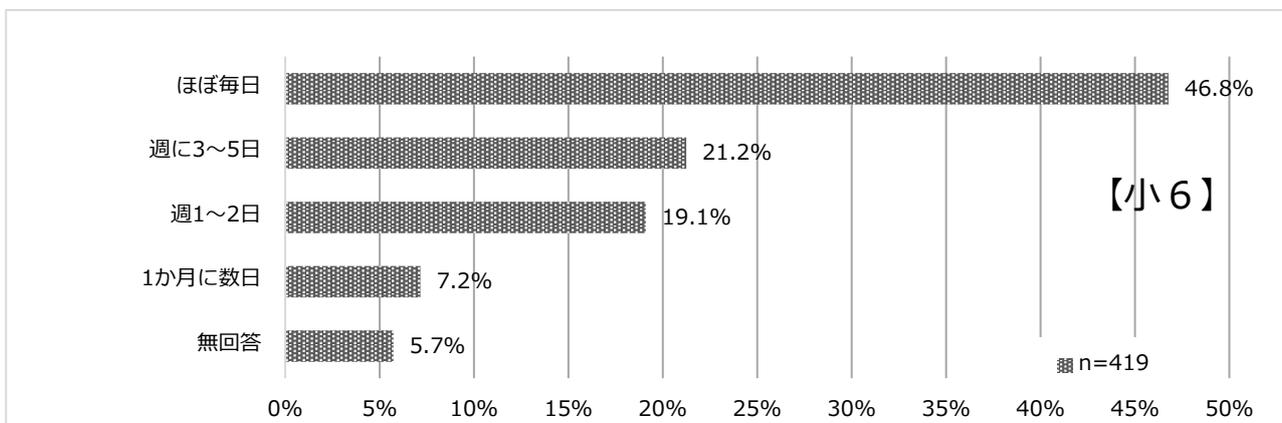
【問 14】世話をする日数は、小学生、中学生ともに約 5 割が「ほぼ毎日」を選択しており、次いで「3 日から 5 日」を児童・生徒の約 2 割が選択している（図表 1-4-5-1）。

【問 15】世話をする時間は、小学生、中学生ともに「30 分から 1 時間」が最も多く、児童・生徒の 4 割弱となっている。次いで「30 分以内」が小学生、中学生ともに約 3 割となっている。1 日 2 時間以上世話をしている児童・生徒は 1 割以下（小学生で 5.5%、中学生で 7%）となっており、「その他」の選択肢には、5 時間以上の長時間の記載もあった（図表 1-4-5-2）。

約 7 割の児童・生徒が日常的に家族の世話に関わっていることがわかる一方で、1 日あたりに関わる時間は 1 時間以内が 7 割となっている。支援に向けて子どもの負担を把握するためには、より詳細な分析が必要である。

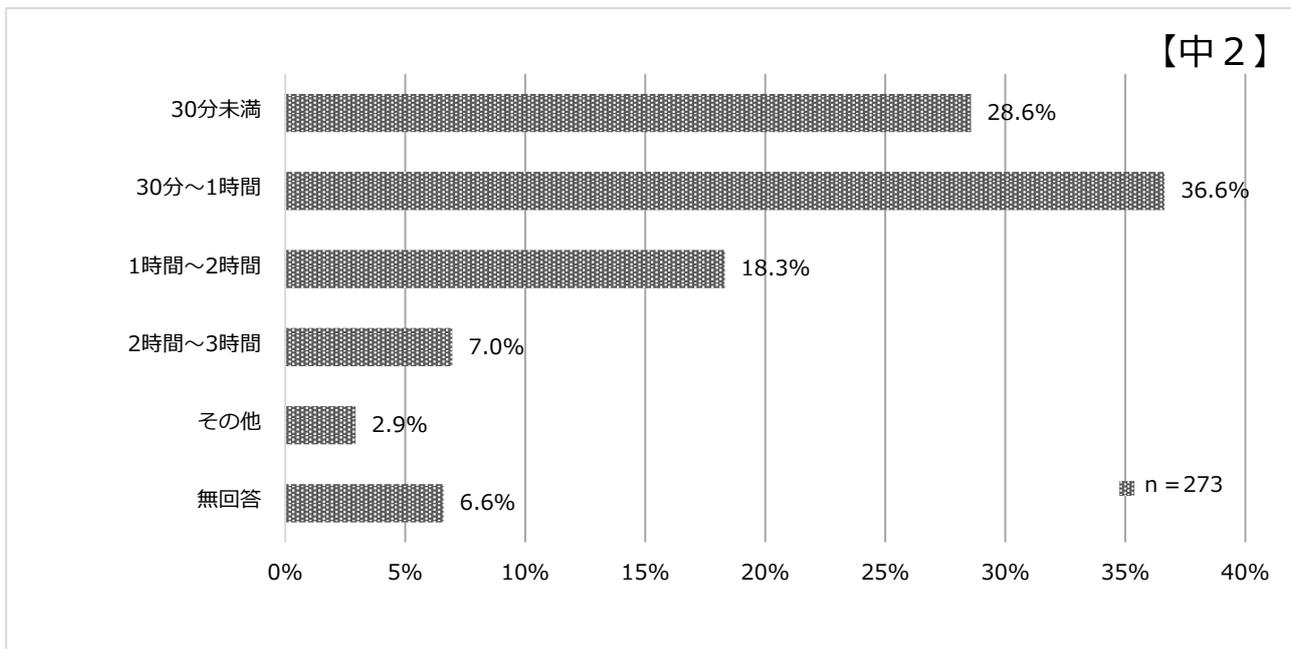
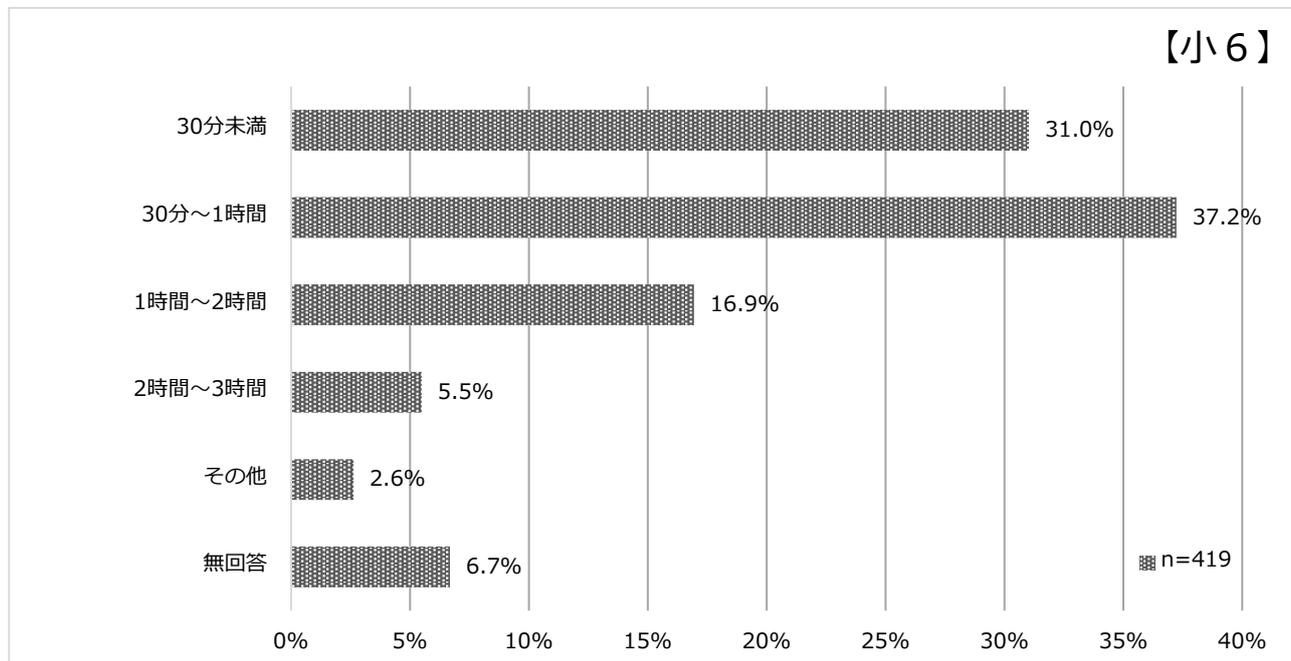
【問 14】（単一回答）あなたが家族のお世話をする日数はどのくらいですか。

図表 1-4-5-1 世話をする日数



【問 15】（単一回答）あなたがお世話をする時間は、平日何時間くらいですか。

図表 1-4-5-2 世話をする時間



1-5 世話をすることによる影響と思い

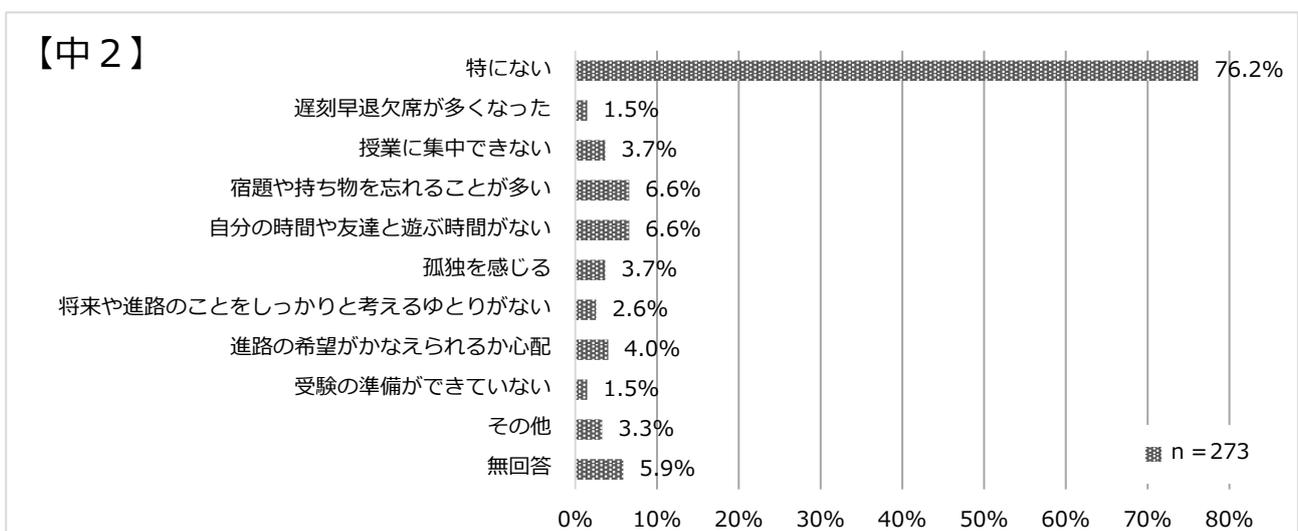
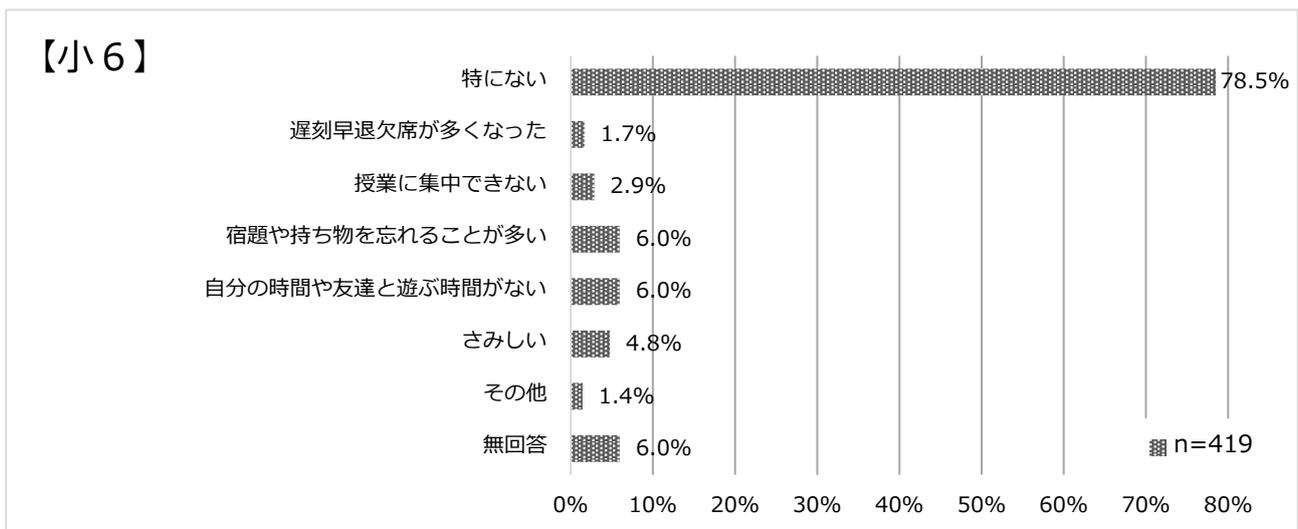
1-5-1 世話をすることによる影響

世話をすることによる影響については、小学生、中学生ともに8割近くが「特にない」としており、他の項目の選択はいずれも1割を下回っている。「特にない」以外では、「自分の時間や友達と遊ぶ時間がない」、「宿題や持ち物を忘れることが多い」を選択した割合が高く、次いで小学生では「さみしい」、中学生では「進路の希望がかなえられるか心配」を選択した割合が高い。（図表 1-5-1）

国の調査ではヤングケアラーが受ける影響として「宿題忘れ」や「遅刻欠席早退」などが高い割合となることが示されており、本調査の結果と差異がある。

【問 16】（複数回答）お世話をしていることで、つぎのようなことがありますか。

図表 1-5-1 世話をすることによる影響



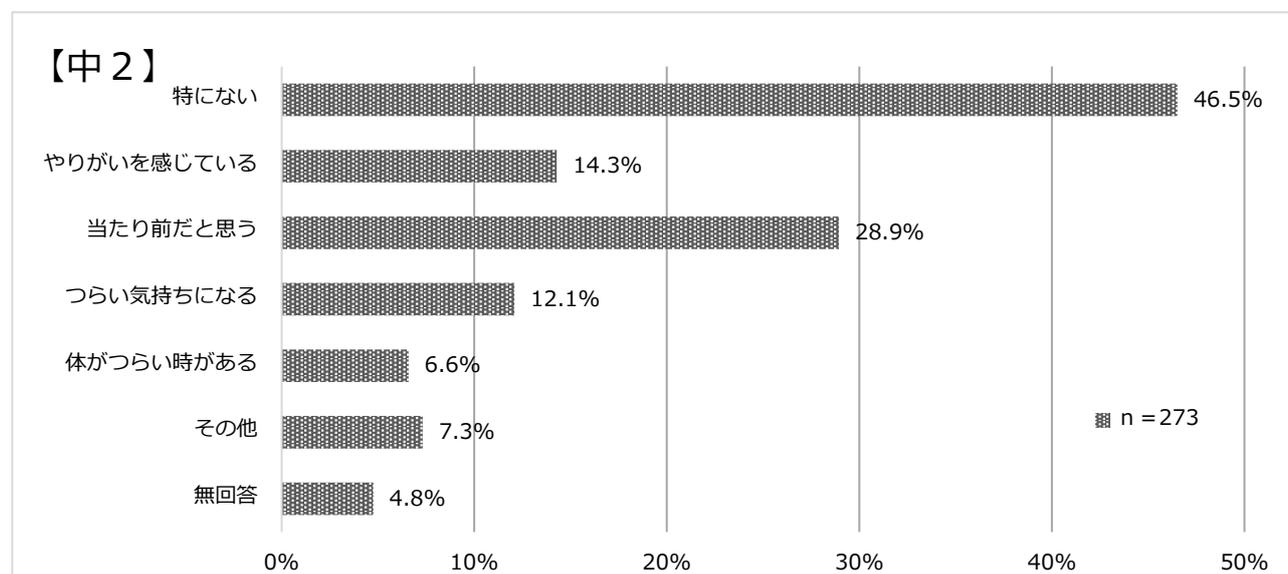
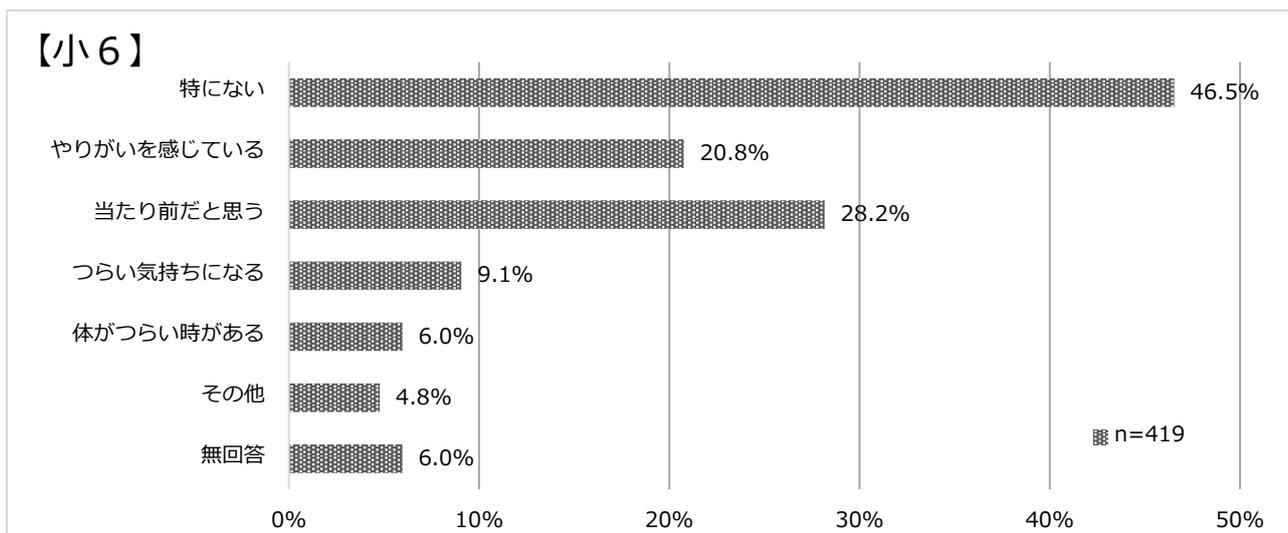
1-5-2 世話をすることについて思っていること

本人が思っていることは、小学生、中学生ともに「特にない」が最も多く約5割となっている。次に「当たり前だと思う」の割合が約3割、「やりがいを感じている」も小学生で約2割、中学生で1割台半ばの選択があった。また、「つらい気持ちになる」と回答した児童・生徒が約1割、「体がつらい時がある」と回答した児童・生徒が小学生の6%、中学生の7%いた（図表 1-5-2）。

家族の世話を当たり前と思いながら、やりがいを感じて世話をしている子どもの中に、つらい気持ちになったり、体がきつくなったりと、世話の負担が過度になっている子どもが一定数いることがわかる。

【問 17】（複数回答）お世話をすることについて思っていることがあれば教えてください。

図表 1-5-2 世話をすることについて思っていること



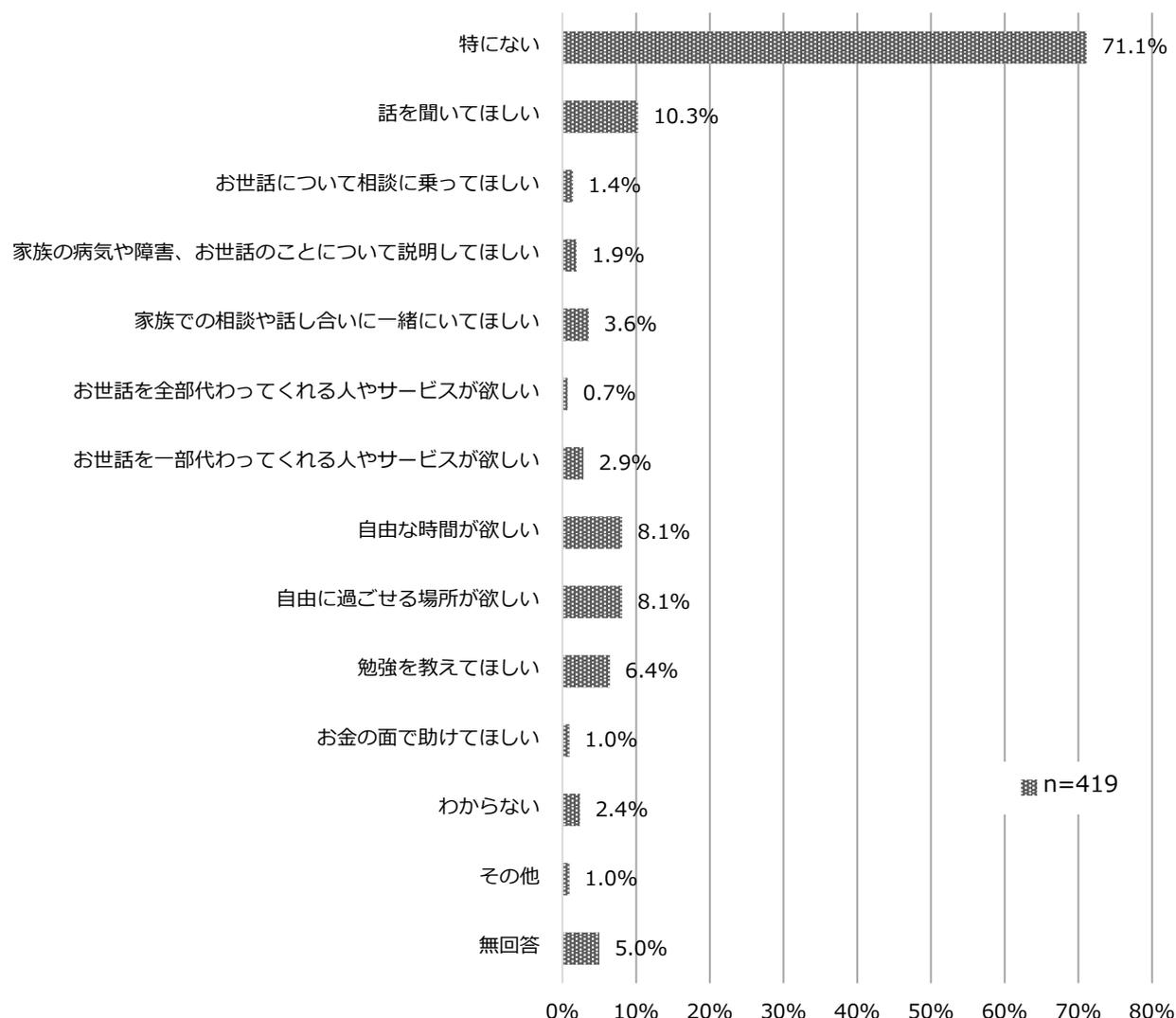
1-5-3 周囲に助けてほしいこと

周囲に助けてほしいことは、小学生、中学生ともに約7割が「特にない」と回答している。次に多い割合は「話を聞いてほしい」の項目であり、小学生、中学生の約1割が選択している。「自由な時間」、「自由に過ごせる場所」、「勉強を教えてほしい」については、小学生、中学生ともに1割に満たないが選択があり、中学生では「進路などの相談にのってほしい」も約7%が選択している。一方で、「世話を代わってくれるサービスが欲しい」を選択した児童・生徒は小学生3%、中学生で1%以下であった（図表 1-5-3）。

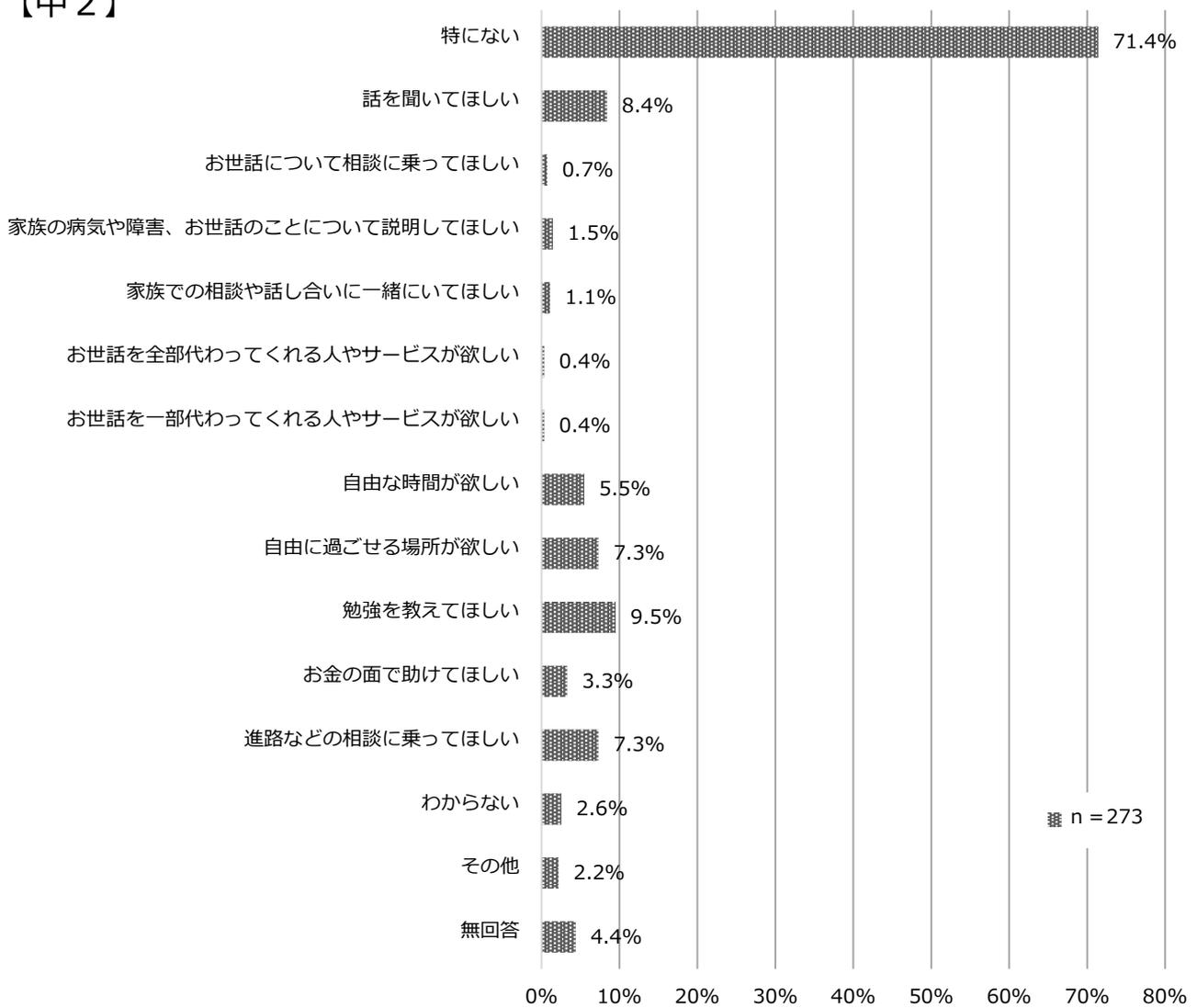
【問 18】（複数回答）学校や周りの大人に助けてほしいことはありますか。

図表 1-5-3 学校や周りの大人に助けてほしいこと

【小6】



【中2】



1-6 相談の状況

1-6-1 相談の状況

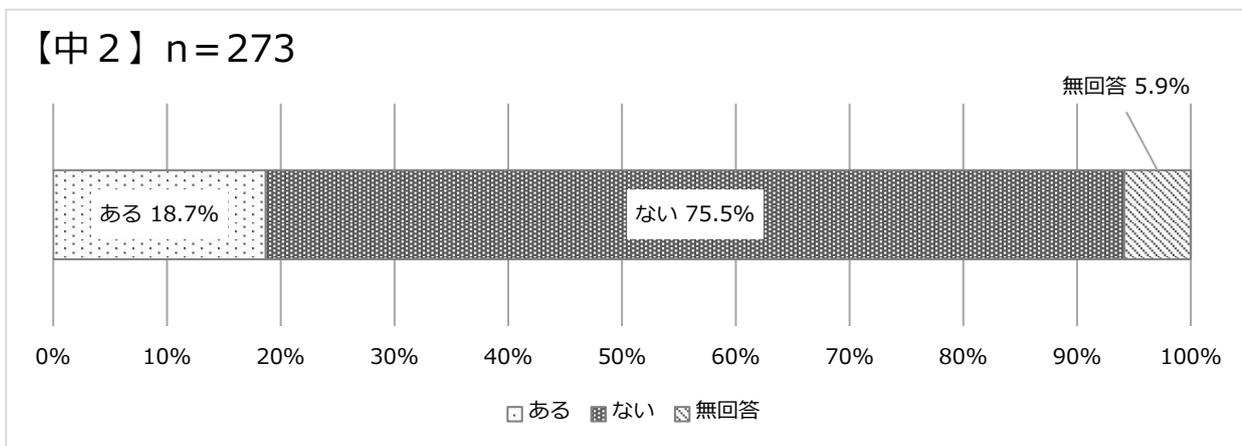
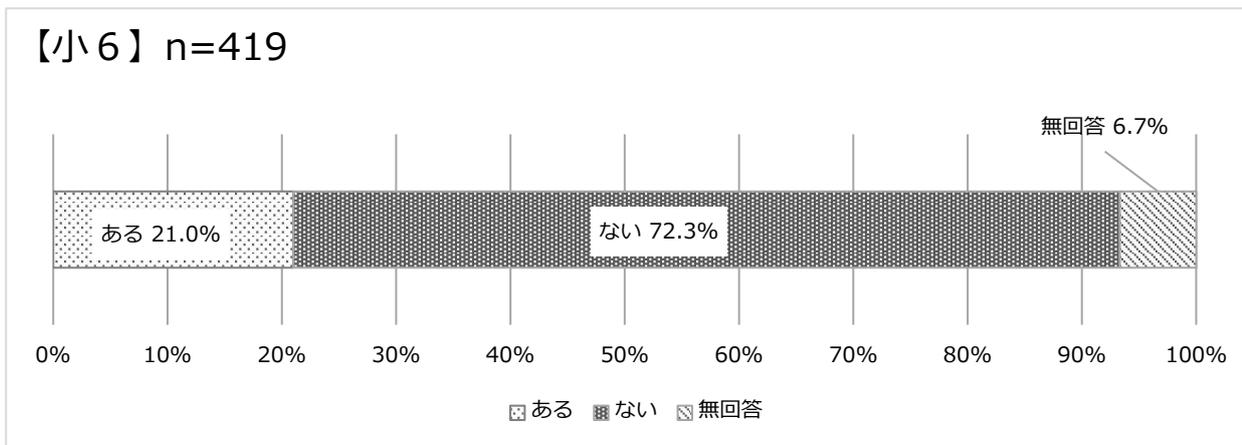
世話に関する相談経験については、小学生、中学生ともに「経験がある」が約2割にとどまり、世話の相談経験は少ない（図表 1-6-1-1）。また、相談する相手は、小学生、中学生ともに「母」、「友だち」の順で多く、次いで「父」、「きょうだい」が多い。主に家庭内で相談している様子がある。外部での相談は、学校（先生、養護教諭、スクールカウンセラー等）での相談が多く、小学生、中学生ともに2割程度あり、中でも「先生（教員）」への相談が最も多く約14%となっている。

中学生ではより「友だち」に相談する傾向が顕著になるほか、「SNSの知り合い」も小学生よりやや多い。割合としては低いが、公的な機関への相談経験も一部にあった（図表 1-6-1-2）。

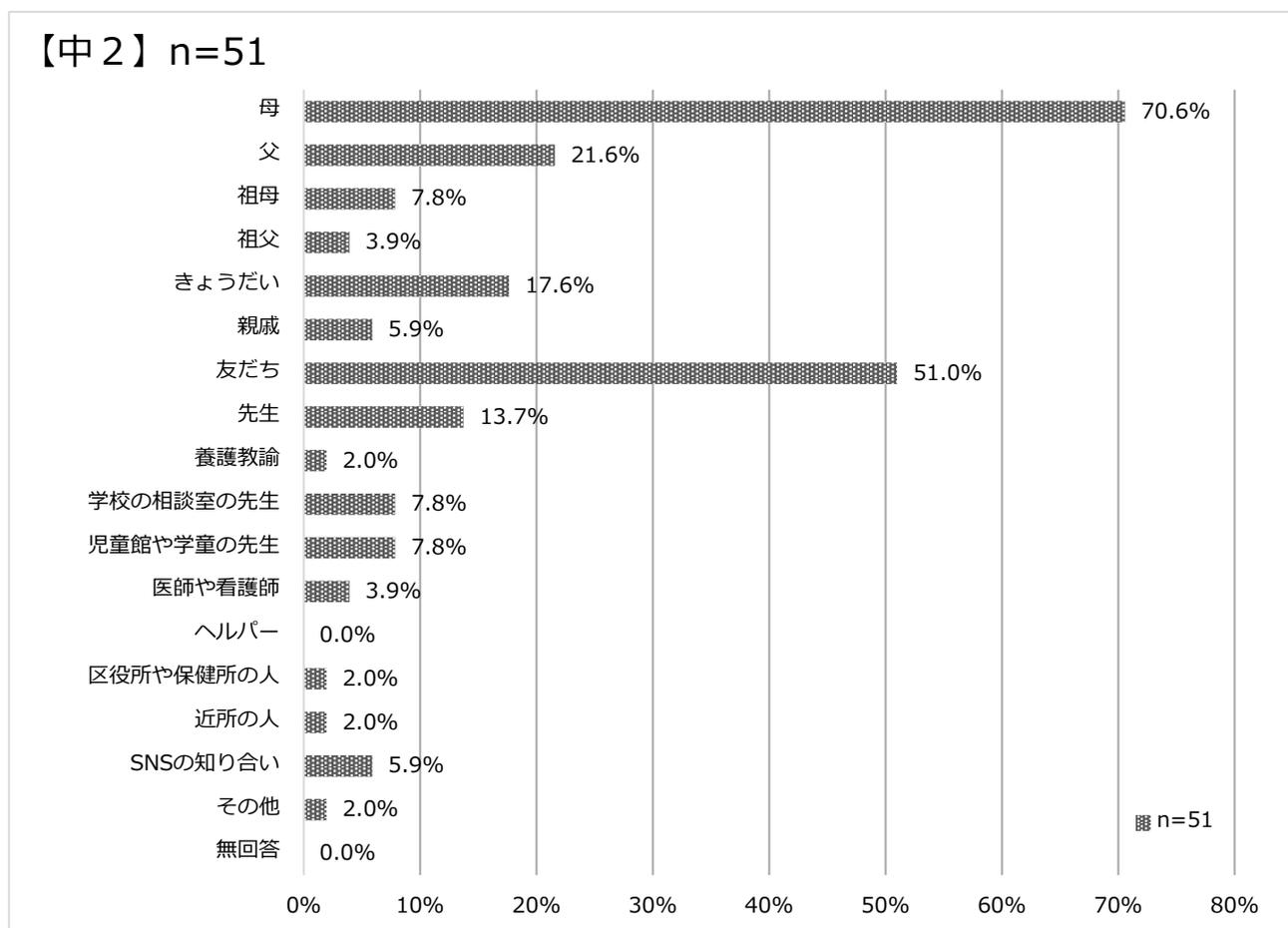
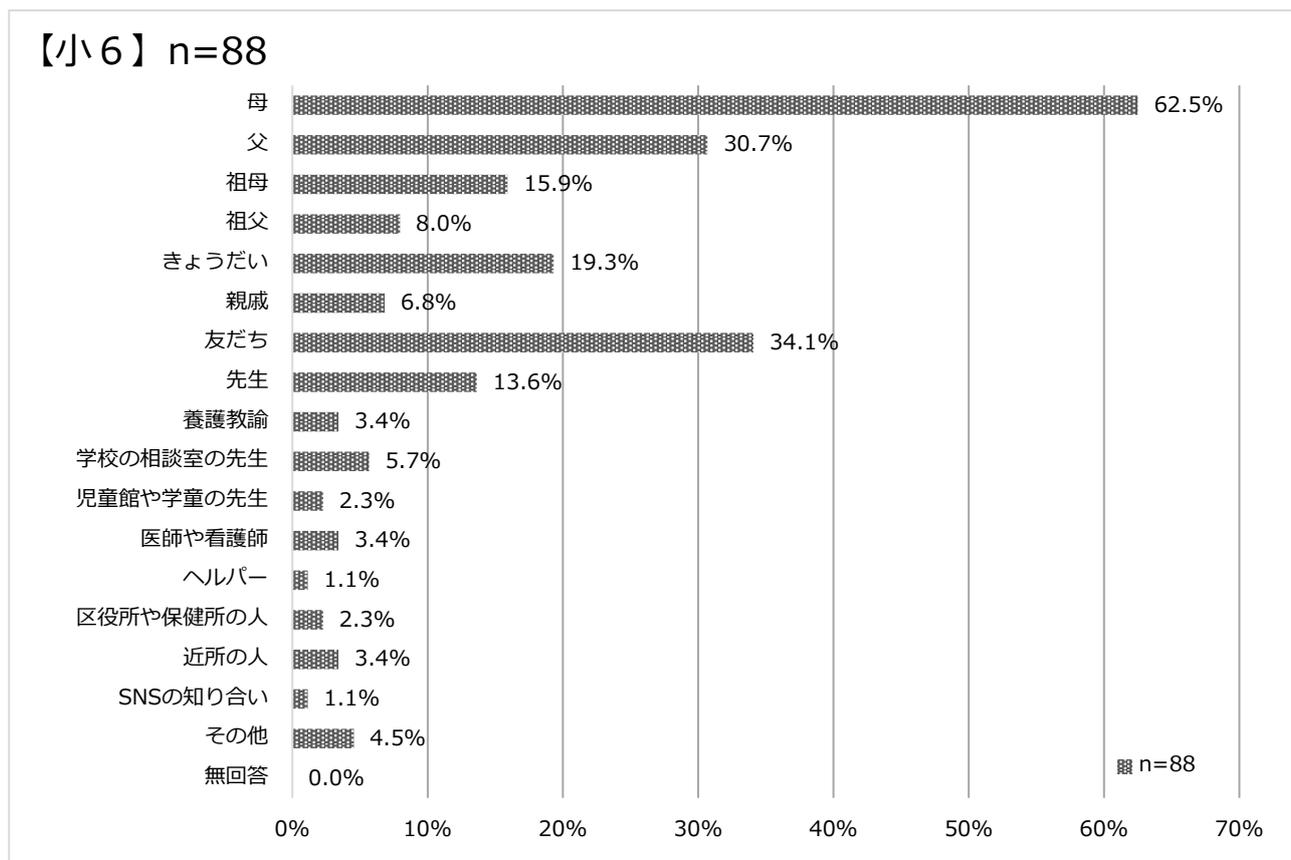
【問 19】（単一回答）お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

【問 20】（複数回答）相談した相手の人はだれですか。

図表 1-6-1-1 世話についての相談経験の有無



図表 1-6-1-2 世話についての相談相手



1-6-2 相談していない理由

相談していない児童・生徒は約 8 割となっている（図表 1-6-1-1）。

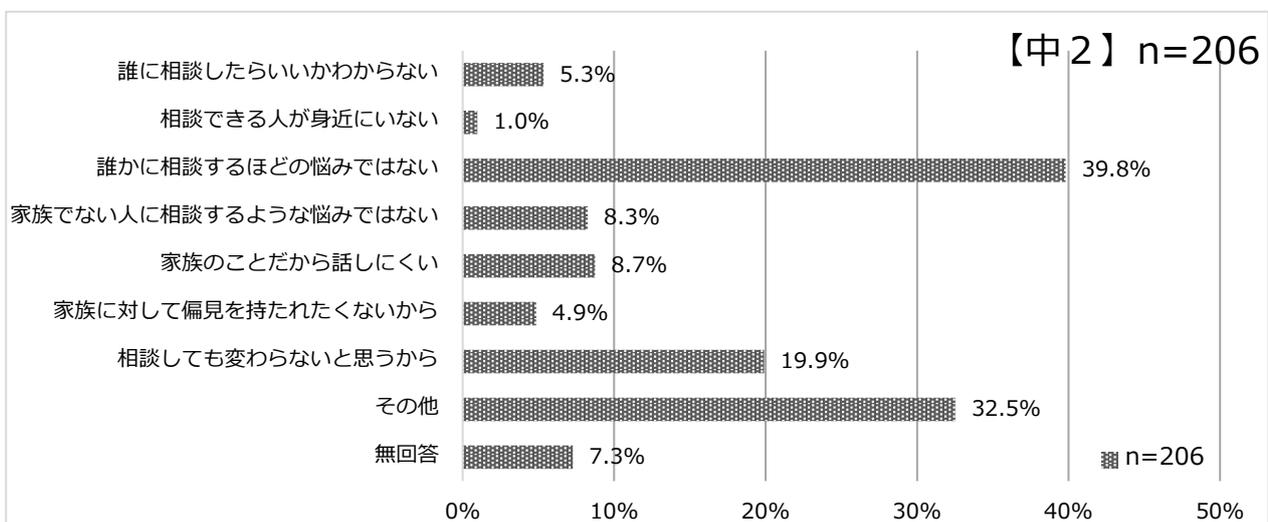
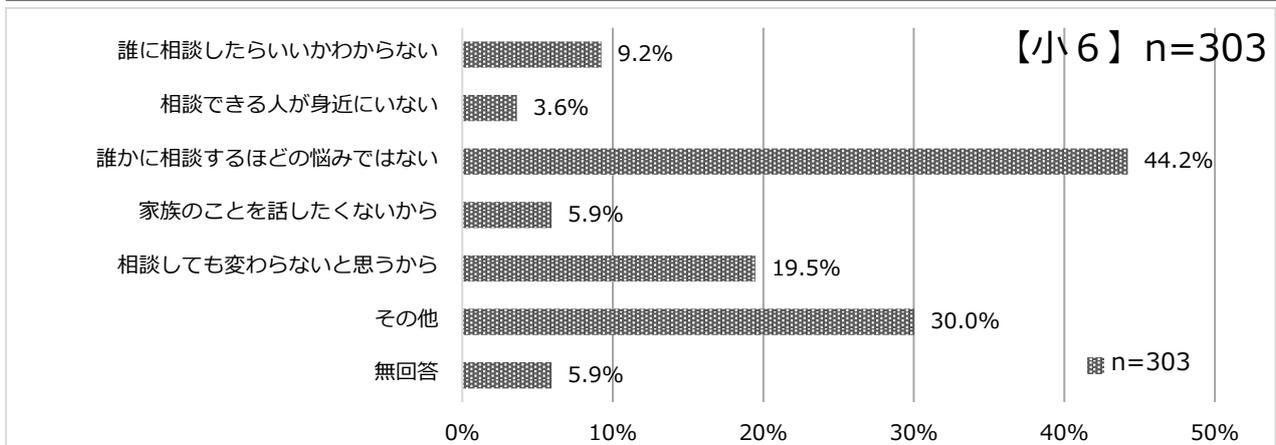
相談しない理由としては「誰かに相談するほどの悩みではない」が最も多く、小学生で 4 割台半ば、中学生で約 4 割となっている。「相談しても何も変わらないと思うから」の回答も多く約 2 割あり、「誰に相談したらよいかわからない」「相談できる人が身近にいない」の回答も 1 割程度あった（図表 1-6-2-1）。「その他」では、「悩んでいない（悩みがない）」の記載が大半を占めたが、「相談したくない」「自分で考える」などの外部に助けを求めない記載もあった。設問【問 22】で、悩みを聞いてくれる人の有無については、小学生、中学生ともに 3 割弱の児童・生徒が「いない」と回答している（図表 1-6-2-2）。

図表 1-6-2-1 相談していない理由

（相談経験のない回答者対象）

【問 21】（複数回答）相談していない理由を教えてください。

【問 22】（単一回答）お世話を必要としている家族のことや、お世話を悩みを聞いてくれる人はいますか。



図表 1-6-2-2 悩みを聞いてくれる人の存在

